

# 平成 24 年度基本構想進行管理 基本構想実現度評価(案)

平成 24 年 10 月 10 日現在

## 目次

子育て・教育 .....	1	頁
福祉・健康 .....	4	頁
コミュニティ・産業・文化 .....	9	頁
まちづくり・環境 .....	16	頁
行財政運営 .....	20	頁

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	子育て・教育	中項目	子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち			
個別計画	子育て支援計画			
所管部	男女協働子育て支援部、保健衛生部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

子育て家庭の転入増や、地域のつながりの希薄化などにより、子育てに不安を抱く人が増えています。また、平成25年には、21年と比べ、0歳から17歳までの人口は1,773人の増、0歳から5歳までの人口は944人の増が人口推計から見込まれるほか、共働き世帯の増加や働き方の多様化により、保育需要は依然として高くなっています。

そこで、子どもが健やかに成長していくため、子どもや家庭の健康の確保に努めます。また、すべての子育て家庭が安心して子育てできるよう、一時的な保育などの取組を充実します。さらに、認可保育園や認証保育所、家庭的保育事業の充実などにより、子育てと仕事の両立を支援します。

## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

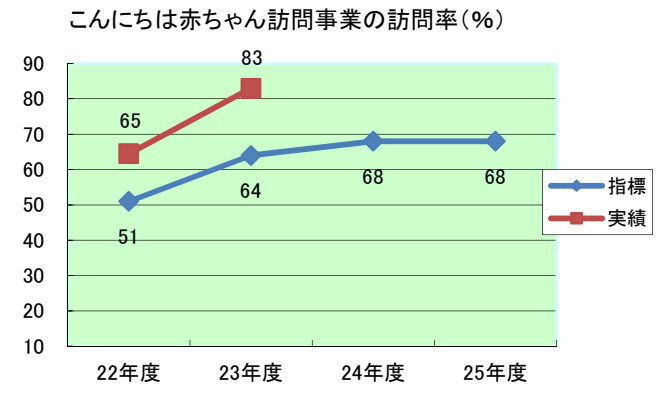
子どもの健康と成長及び在宅子育て家庭の安心子育てのため、利用者の利便性に配慮した事業の仕組みの検討と関係機関・地域との連携の形成を図っていきます。

また、子育てと仕事の両立を支援していくため、利用者のニーズに合った保育サービスの適切な整備を図っていきます。さらに、保育園においては災害等に備え、室内安全対策を図ってまいります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 子どもの健やかな成長と子育て家庭の健康の支援【訪問率】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	51 %	64 %	68 %	68 %
実績値	65 %	83 %	%	%
達成率	126.5 %	129.7 %	%	%

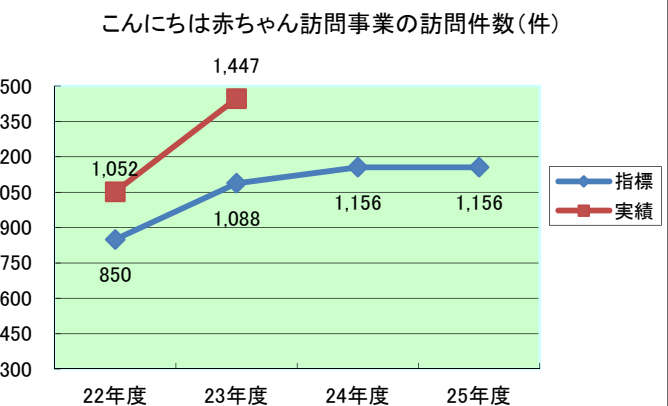


【取組状況・成果】事業の周知による出生通知票受理数の増加や出生通知票未提出家庭へ保健師が直接訪問することにより、訪問率は当初目標を上回ることができました。

【課題】保健師や助産師を対象に研修や連絡会を行い、適切なサービスの提供や継続的な支援に努める必要があります。

### ① 子どもの健やかな成長と子育て家庭の健康の支援【訪問件数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	850 件	1,088 件	1,156 件	1,156 件
実績値	1,052 件	1,447 件	件	件
達成率	123.8 %	133.0 %	%	%

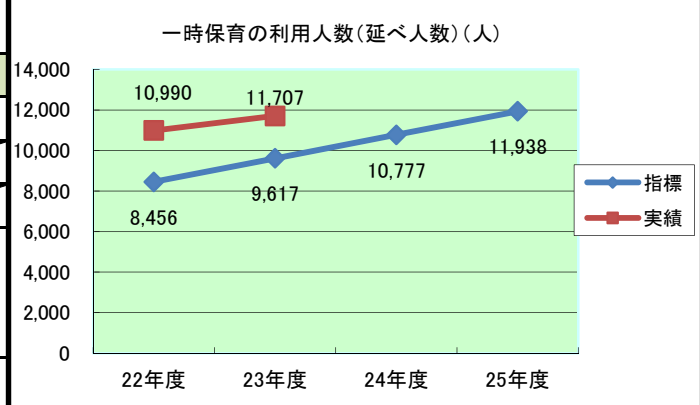


【取組状況・成果】 同上

【課題】 同上

## ② すべての子育て家庭の支援

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	8,456 人	9,617 人	10,777 人	11,938 人
実績値	10,990 人	11,707 人	人	人
達成率	130.0 %	121.7 %	%	%

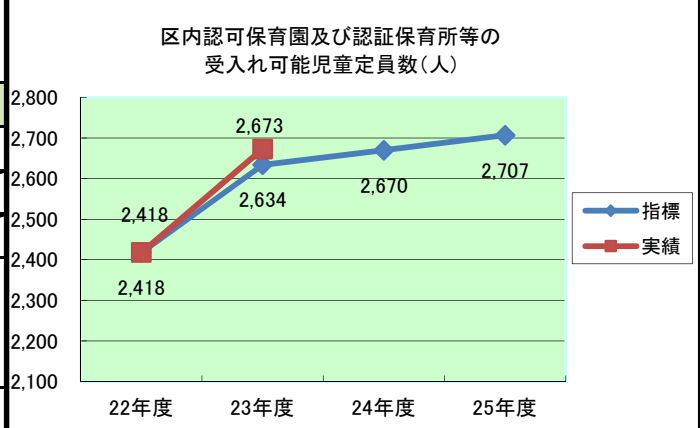


【取組状況・成果】在宅子育て家庭の一時保育の需要に対して、一時預かり事業、緊急一時保育及びリフレッシュ一時保育事業を実施し、目標を超える利用となっています。これにより、多くの子育て家庭の支援が図られました。

【課題】リフレッシュ保育について、申し込みが一部の施設や時期に集中することにより、利用しにくくなっています。

## ③ 子育てと仕事の両立の支援

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	2,418 人	2,634 人	2,670 人	2,707 人
実績値	2,418 人	2,673 人	人	人
達成率	100.0 %	101.5 %	%	%



【取組状況・成果】認可保育所を22年度に1施設、23年度に3施設開設するとともに、家庭的保育者を2名新たに認定するなどにより、保育サービスの拡充を行いました。

【課題】推計を上回る就学前児童人口の増などにより、待機児童の解消には至らない状況です。

## 3 評価

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上</li> <li>■ B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存</li> <li>■ C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満</li> </ul>
---	--

## ●中項目全体の成果・課題 (昨年度の所見)

<p>健やかな成長、在宅子育て支援及び仕事と子育ての両立支援の各分野で計画を超える実績となっています。しかしこれらの各事業に対する需要は増加傾向にあり、一層の充実あるいは拡充が求められています。特に一時保育や保育サービスについては量的な拡充を図っていく必要があります。</p>	<p>子どもの健やかな成長を図るための事業、子育て家庭が安心して子育てするための事業及び仕事と仕事の両立を図る事業など、様々な取り組みにより計画を超える実績をあげてきています。さらに一層の充実を図っていくために、区民のニーズの変化等を正確に把握していく必要があります。</p>
--	--

## ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	32	32	32	
総事業費	H22実績	5,454,291 千円		
	H23実績	6,264,962 千円		
	H24予算	6,351,276 千円		
	H25予算	千円		

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

総人口の増加率を大きく上回る未就学児の人口増に伴い、子育て支援事業に対する新たな需要が生じてきています。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

子どもの健やかな成長と健康の支援ではサービススキルの向上を図るとともに継続的な支援を図っていきます。在宅子育て支援では、子育て負担感の軽減に寄与するよう一時保育の利用利便性の向上を図っていきます。また、仕事と子育ての両立支援では、保育計画の見直しとともに待機児童対策の一層の推進に取り組んでいきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	子育て・教育	中項目	教育
-----------------------	-----	--------	-----	----

将来像	豊かな環境と人とのかかわりの中で、子どもが「個」として尊重され、共に学び合うまち			
個別計画				
所管部	教育推進部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

平成22年度で、区立小学校の児童は6,782人、区立中学校の生徒は2,114人となっています。教育制度が大きな転換期を迎える中、新しい学習指導要領の全面実施を受け、これらの児童・生徒に対し、「生きる力」を育む理念を実現するための取組が求められています。また、地域における地縁的なつながりが希薄化しており、地域社会を通じて培われる「社会性」や「信頼関係」の育成が困難な状況にあります。

そこで、教科の学力をはじめ、社会や環境の変化に対応する能力、たくましく生きるための豊かな心と健やかな体をバランスよく育成します。また、幅広い人間関係を築き社会性を身につけるため、地域住民等との交流を進めるとともに、関係機関との連携を図りながら、学校支援機能を高めていきます。さらに、特別な支援が必要な子どもに対する、一人ひとりの生活や学習を改善するための教育活動を推進していきます。このほか、教育環境を向上させるため、老朽化した施設整備の改修を計画的に実施します。

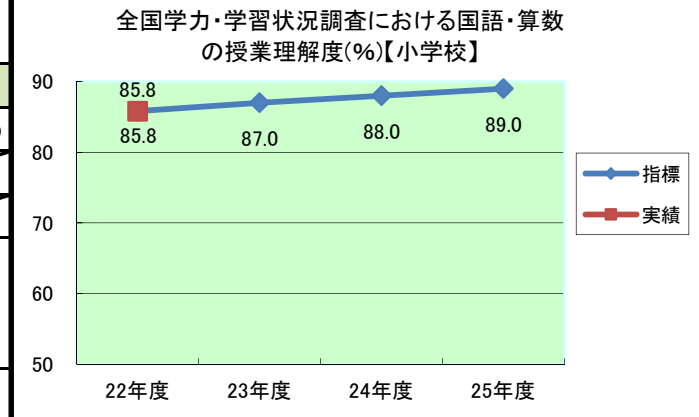
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

- ・児童、生徒が確かな学力を身につけるため、区費による非常勤講師を含めた学校全体の授業改善を図ります。
- ・スクールガードボランティアの活動を今後とも支援していきます。小学校のみで実施している学校支援地域本部は、中学校での設置を働きかけ、設置校の拡大を図ります。
- ・不登校解消に向けて不登校対応チーム、特別支援教育専門家チーム活用の推進を図りながら、学校自体の対応力並びに学校への支援体制を強化していきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 自ら学び考え課題を解決する子どもの育成【小学校】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	85.8 %	87.0 %	88.0 %	89.0 %
実績値	85.8 %	— %	%	%
達成率	100.0 %	— %	%	%

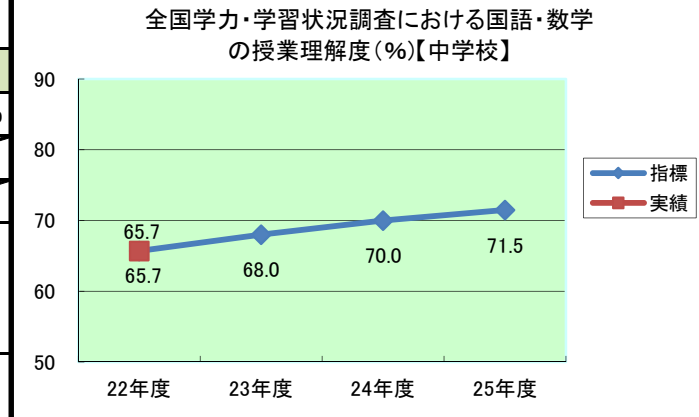


【取組状況・成果】都や区の学力調査等の結果に基づき、授業改善推進プランを修正・作成し、授業改善を図りました。（平成23年度は、東日本大震災の影響等により調査の実施は見送りとなりました。）

【課題】指導力のある非常勤講師を継続的に図る必要があります。また、知識・理解だけでなく思考・判断力の向上も目指した授業改善を図る必要があります。

### ① 自ら学び考え課題を解決する子どもの育成【中学校】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	65.7 %	68.0 %	70.0 %	71.5 %
実績値	65.7 %	— %	%	%
達成率	100.0 %	— %	%	%



【取組状況・成果】同上

【課題】同上

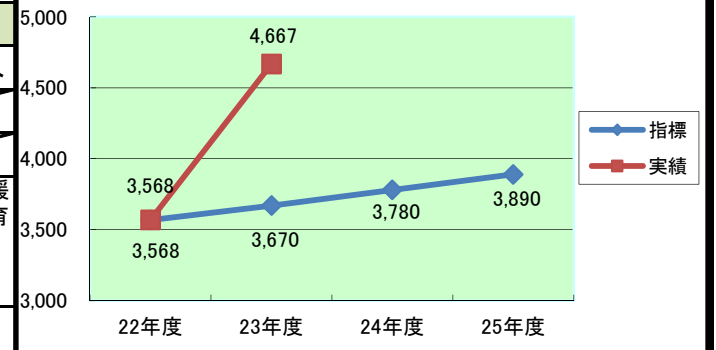
## ② 地域ぐるみで学校教育を支援する活動の推進

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	3,568 人	3,670 人	3,780 人	3,890 人
実績値	3,568 人	4,667 人	人	人
達成率	100.0 %	127.2 %	%	%

【取組状況・成果】ボランティア数は年度により多少の増減があります。学校支援地域本部設置校の増加に伴い、ボランティアの数が大幅に増加し、地域による教育活動の支援がより期待されます。  
学校支援地域本部設置校数は、20年度6校、21年度7校、22年度8校、23年度11校と増加しています。

【課題】ボランティアによる支援は、個々人の協力が前提であるため、継続性の確保が課題です。

学校を支援するボランティアの人数(人)



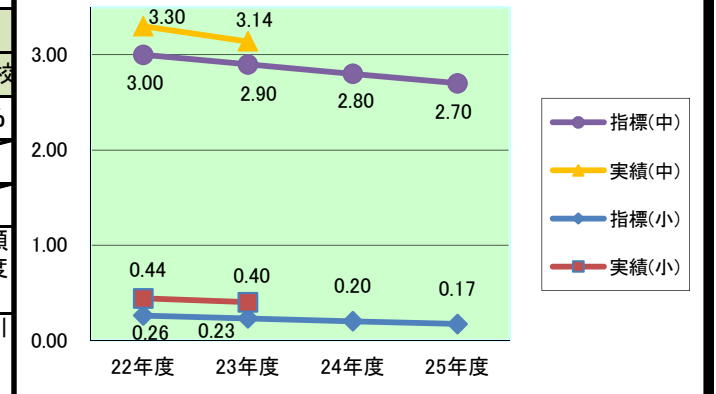
## ③ 個が輝き、共に生きる教育の推進

	22年度		23年度		24年度		25年度	
	小	中学校	小	中学校	小	中学校	小	中学校
目標値	0.26	3.00 %	0.23	2.90 %	0.20	2.80 %	0.17	2.70 %
実績値	0.44	3.30 %	0.40	3.14 %	%	%	%	%
達成率	46.2	90.0 %	26.1	91.7 %	%	%	%	%

【取組状況・成果】不登校出現率は小学校・中学校とも、わずかですが減少傾向にあります。各学校と関係機関等との緊密な連携による取組に加え、23年度からの区不登校対応チームによる支援による成果ととらえております。

【課題】東京都全体と比較すると、小学校・中学校は高い傾向にあります。引き続き、個別ケースの状況把握と区不登校対応チームによる支援の強化に加え、小中学校の円滑な接続、連携の強化を図っていく必要があります。

区立学校児童・生徒の不登校出現率(%)



## 3 評価

B	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

## ●中項目全体の成果・課題

授業改善推進プランの改善、区不登校対応チームの活用によって、学力向上や不登校等に成果が上がってきていると考えられます。また、学校支援地域本部設置校の増加は地域で学校を支える起爆剤となり、地域と学校の連携強化が図られつつあります。

## (昨年度の所見)

・非常勤講師やスクールソーシャルワーカー等の配置、教員の授業改善によって、学力向上や不登校、集団不適応等に成果が上がっていると考えられます。  
・学校教育には地域の活力が大変重要であり、そのためには今後もボランティアの協力体制を築き上げていく必要があります。

## ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
		26	26	26
総事業費	H22実績	1,044,959 千円		
	H23実績	1,577,810 千円		
	H24予算	1,694,056 千円		
	H25予算	千円		

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

特になし。

## 6 今後の方向性

確かな学力、豊かな心と体を育むためには、就学前も含めた小・中学校の円滑な接続、連携の強化を図っていく必要があります。また、学校、教育委員会、関係機関等との連携を一層強化し、不登校の個々の児童、生徒及び家庭に対し、きめ細かな柔軟な支援をしてまいります。さらに、学校支援地域本部を中心に地域住民による学校支援を推進してまいります。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	子育て・教育	中項目	青少年の健全育成
-----------------------	-----	--------	-----	----------

将来像	地域で人とのかかわりを学びながら、光る笑顔の青少年が育つまち			
個別計画				
所管部	男女協働子育て支援部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

都市化の進展や、子育て家庭の転入増等により、子どもたちと地域とのつながりが希薄になっています。また、情報技術の進展に伴うインターネットや携帯電話の利用により、同年齢や異年齢の子どもたちが、直接的な集団での遊びを通じて社会性を育む機会も減少しています。そこで、子どもたちが、地域の人々が実施する行事等に気軽に参加できるよう、地域の大人や子ども同士でふれ合える機会を充実します。さらに、さまざまな活動を通して社会性を身につけられるよう、社会参加や自立のきっかけづくりに努めます。また、子どもたちが安全に安心して暮らせる環境を整えるため、地域ぐるみで温かく子どもたちを見守る取組を進めます。

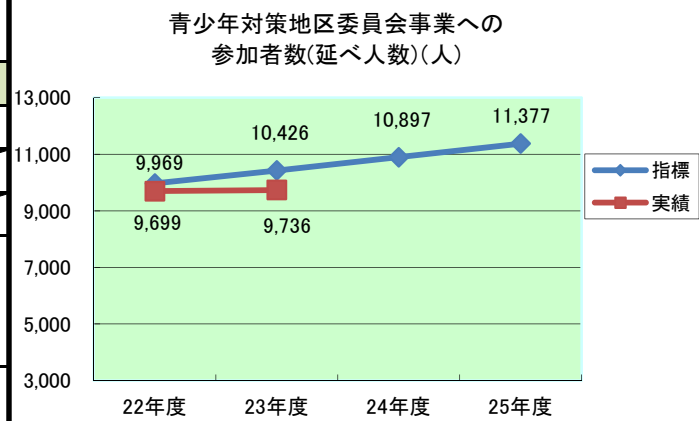
### ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

青少年対策地区委員会の設立50周年記念事業や各地区の活動方針等を通じて、改めてその活動を広く周知し、参加者の拡大と青少年対策地区委員会活動のさらなる発展を目指します。また、地域での認知度が低いNPO等に対しては、事業の広報等必要な支援を行い、事業への参加を促します。さらに、地域で子どもたちを見守るため、区立小学校PTAによる「子ども110番」の貼付状況の調査を継続する等、協力者の拡大を図ります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① ふれあいの機会の充実

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	9,969 人	10,426 人	10,897 人	11,377 人
実績値	9,699 人	9,736 人		
達成率	97.3 %	93.4 %		

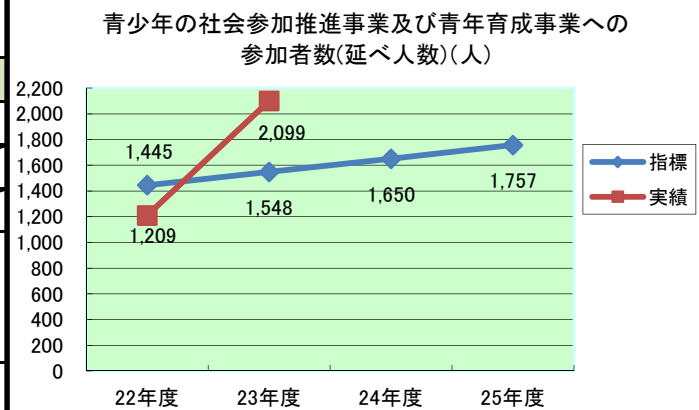


【取組状況・成果】各地区が実施する事業に対し補助を行うとともに、設立50周年の機会を捉えて、区報等でその活動内容を広く周知しました。また、九地区合同行事「文の京こどもまつり」は家族や地域の人とのふれあいの場として定着しています。

【課題】青少年対策地区委員会が地域で担う役割や具体的な活動内容は、時代の変化に沿ったものである必要があります。

### ② 自立のきっかけづくり

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,445 人	1,548 人	1,650 人	1,757 人
実績値	1,209 人	2,099 人		
達成率	83.7 %	135.6 %		



【取組状況・成果】NPO等が実施する事業に対し補助を行うことで、それぞれのNPO等の特徴を活かしながら、青少年の社会参加と自立のきっかけを与える事業を実施することができました。

【課題】NPO等の活動に対する認知度を上げ、事業への参加人数を拡大するための、側面的なサポートも必要です。

### ③ 地域での見守り

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,754 件	1,814 件	1,874 件	1,934 件
実績値	1,754 件	1,832 件		
達成率	100.0 %	101.0 %		

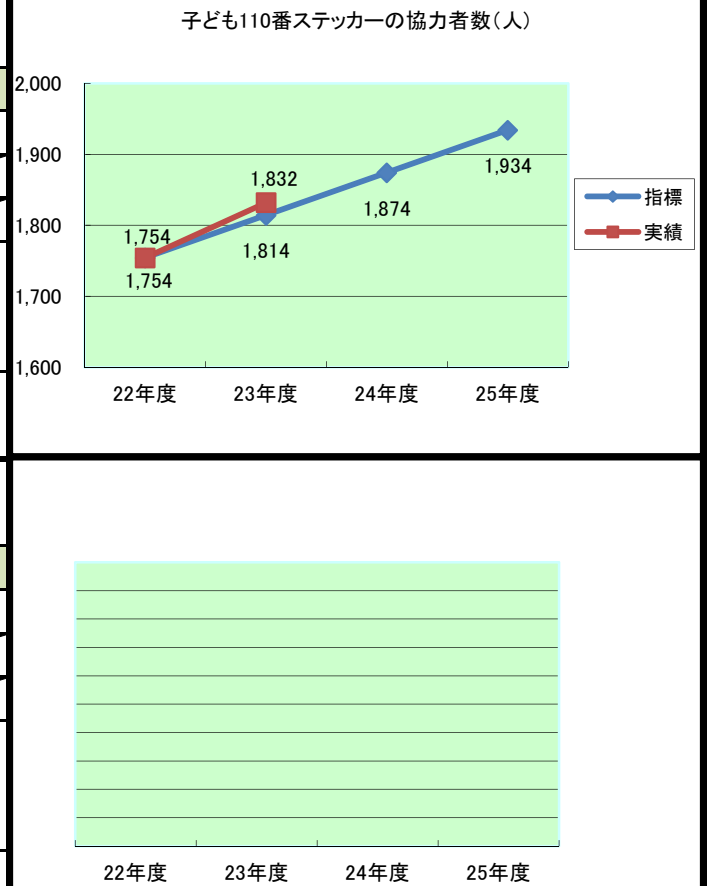
【取組状況・成果】区立小学校PTAの協力により、ステッカー貼付状況の調査を行いました。新規協力の積極的な呼びかけ等により、協力者数の拡大を図ることができ、安全・安心の面で良好な地域環境が保たれています。

【課題】今後も区立小学校PTAとの連携のもと、地域実情に合った協力者の拡大と、地域で子どもたちを見守る意識の醸成を図っていく必要があります。

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上</li> <li>■ B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存</li> <li>■ C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満</li> </ul>
---	--

### ●中項目全体の成果・課題

青少年対策地区委員会やPTA、NPO等の地域に根ざした活動により、子どもたちが地域の大人たちとの関わりの中で健やかに成長できる環境が保たれています。今後も、青少年関係団体と連携しながら青少年健全育成施策を発展させていくためには、改めて各団体の役割等を振り返りながら、時代に即したその活動のあり方を整理することが必要です。また、地域活動を支える担い手をいかに発掘し、どうその活用を図っていくかが課題です。

### (昨年度の所見)

青少年対策地区委員会をはじめとする関係団体との連携のもと、地域性を活かした効果的な事業展開を図ることができました。事業内容や地域の実情などが、参加者数や協力者数に大きく影響することもあります。各事業を通じて、地域ぐるみで子どもたちを見守る環境が築かれています。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	8	8	8	
総事業費	H22実績	43,608 千円		
	H23実績	42,270 千円		
	H24予算	43,028 千円		
	H25予算	千円		

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

子どもを巻き込んだ事件・事故の多発（通学路等、子どもたちの安全に対する不安感の高まり）

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

青少年対策地区委員会の活動支援を継続していく一方で、地域における青少年健全育成を総合的に推進する本来の役割を振り返りながら、時代に即した事業展開を図っていきます。また、NPO等の特性を活かした事業を様々な角度から支援しながら、事業の定着と参加者の拡大を図ります。さらに、区立小学校PTAとの連携により「子ども110番」事業の協力者を拡大し、一層、安全・安心な地域環境を築いていきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	福祉・健康	中項目	高齢者福祉
将来像	歳を重ねても、いきいきと自分らしく暮らせるまち			
個別計画	地域福祉保健計画（高齢者・介護保険事業計画）			
所管部	福祉部、保健衛生部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

区の人口全体に占める65歳以上の高齢者人口の割合は、平成22年10月現在で19.7%（37,653人）です。今後10年間で、毎年平均約600人以上が増加し、そのうち約400人は75歳以上の後期高齢者が占めることが、人口推計から見込まれます。今後も高齢化が進むとともに、一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加が予想されます。

また、福祉・介護サービスを必要とする高齢者の増加も見込まれます。

そこで、できるだけ要介護状態に陥らないように介護予防に取り組むとともに、介護保険や福祉サービスの充実、医療と介護の連携強化等によって高齢者の自立した暮らしに向けた支援を行います。

また、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、小規模多機能型居宅介護施設や認知症高齢者グループホーム等の整備を進めます。

一方、高齢者の知識や経験を活かした地域社会等での活動を支援するなど、高齢者の生きがいを推進していきます。

## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

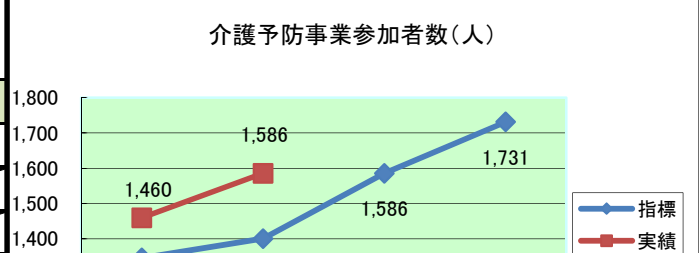
今年度、地域福祉計画の改定を予定しています。そこで、今後の、介護予防の推進、介護保険サービスの充実、地域密着型サービスを提供する施設の整備、高齢者の地域社会等での活動の支援についても、充実を図ってまいります。

また、本年10月1日から医療連携推進委員配置により、地域包括ケアの充実を図ってまいります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 介護予防の推進

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,346 人	1,401 人	1,586 人	1,731 人
実績値	1,460 人	1,586 人	人	人
達成率	108.5 %	113.2 %	%	%

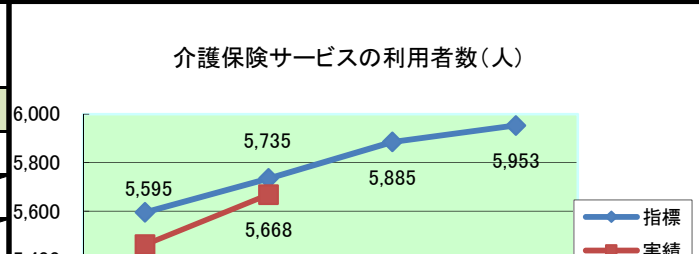


【取組状況・成果】  
文の京介護予防体操は、地域の高齢者が日常生活の中で継続して参加できる介護予防事業として浸透してきており、参加者の増加に対応するため、3か所の地域会場で2部制を導入しました。

【課題】多くの高齢者に介護予防に取り組んでいただくために、既存の介護予防事業に加え新規事業を立ち上げましたが、高齢者ニーズや効果を検証していく必要があります。

### ② 介護保険サービスの充実

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	5,595 人	5,735 人	5,885 人	5,953 人
実績値	5,462 人	5,668 人	人	人
達成率	97.6 %	98.8 %	%	%



【取組状況・成果】  
介護が必要になった場合、スムーズに適切な介護保険サービスが受けられるよう、介護保険制度の周知をパンフレットや区報、ホームページ等で行っています。また、地域の相談窓口となる地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）の周知を行っています。

【課題】  
介護保険事業計画を着実に実施し、今後も必要なサービスを過不足なく提供していきます。

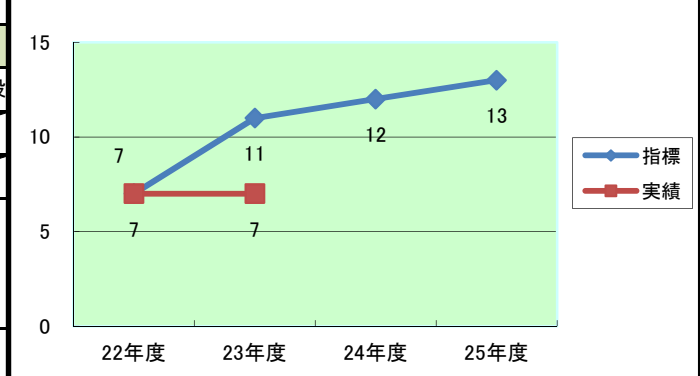
### ③ 地域密着型サービスを提供する施設の整備

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	7 施設	11 施設	12 施設	13 施設
実績値	7 施設	7 施設	施設	施設
達成率	100.0 %	63.6 %	%	%

【取組状況・成果】介護保険事業計画に沿い、公募により認知症対応型グループホームや小規模多機能型居宅介護施設等を整備しています。23年度に1か所（グループホーム）が整備される予定でしたが、工期の遅れにより24年度に開設することになりました。

【課題】生活圏により片寄りが出ないよう計画に沿い公募を行っていますが、計画通りに施設整備が進んでいません。今後は公有地の活用も含め検討していきます。

地域密着型サービスを提供する施設数(施設)



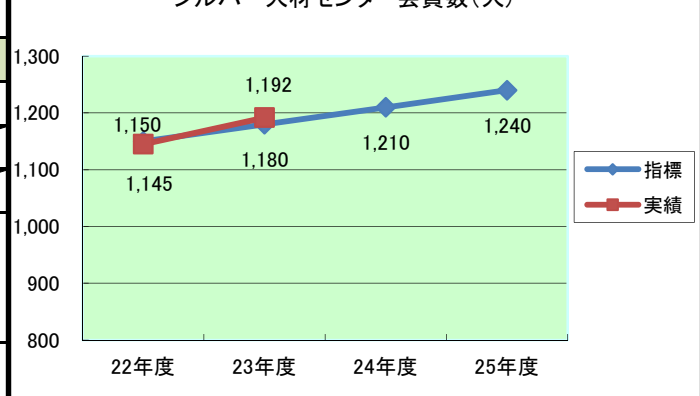
### ④ 高齢者の地域社会等での活動

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,150 人	1,180 人	1,210 人	1,240 人
実績値	1,145 人	1,192 人	人	人
達成率	99.6 %	101.0 %	%	%

【取組状況・成果】希望者に対して就業専門員による会員募集説明会の開催や、関係機関との連携により、正会員数が、前年度比47人増となり、目標値を上回りました。

【課題】就業率の向上を図るため、新たな就業分野の開拓及びより希望と能力に応じた就業機会の提供が必要です。

シルバー人材センター会員数(人)



## 3 評価

B	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

## ●中項目全体の成果・課題

健康で豊かな暮らしの実現に向けた取り組み（2①④）については、参加者が目標値を上まわっており、引き続き着実に推進していく必要があります。介護が必要になった方（2②③）に対しては、適切なサービスを提供するほか、公有地を活用した施設整備を推進するなど、環境整備に取り組んでいく必要があります。

## （昨年度の所見）

区は、高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく暮らせるために、様々な活動を通して環境整備を進め、生きがいをづくりや自己実現の支援、体力・気力の維持向上に取り組む必要があります。さらに、介護が必要な方には適切なサービスを提供するほか、引き続き事業者の参入しやすい環境整備を行っていきます。

## ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
		20	20	20
総事業費	H22実績	311,538 千円		
	H23実績	385,836 千円		
	H24予算	444,229 千円		
	H25予算	千円		

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

今後の高齢化の進行

## 6 今後の方向性

本年3月に新たな地域福祉保健計画（高齢者・介護保険事業計画）を策定しました。その中では、地域で支え合うしくみの充実、在宅サービスの充実、健康で豊かな暮らしの実現、多様な住まい方の支援、災害への対応等様々な課題を取り上げています。これらに対応し、いつまでもいきいきと自分らしく豊かに暮らせる地域社会を作っていくため、高齢者あんしん相談センターの充実を図るなど、必要な施策を積極的に展開してまいります。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	福祉・健康	中項目	障害者福祉
将来像	だれもがお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち			
個別計画	地域福祉保健計画（障害者計画）			
所管部	福祉部、保健衛生部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

平成22年3月現在、障害者手帳所持者は身体・知的・精神の3障害合わせて5,845人となっており、障害者自立支援法に基づくサービス受給者も毎年増加しています。  
 また、障害者を取り巻く雇用情勢は、企業の求人数の減少などにより、一層厳しくなっています。  
 このため、利用者ニーズに適切に対応できるよう、グループホーム等の基盤整備を始め、ハード・ソフト両面の障害福祉サービス充実に取り組みます。  
 また、就労については、障害者の特性や状況に応じたきめ細かな支援を行い、就労者の増加や定着化を進めます。  
 さらに、地域住民が障害や障害者について関心を持ち、理解を深めることができるよう、人にやさしいまちづくりを進めます。

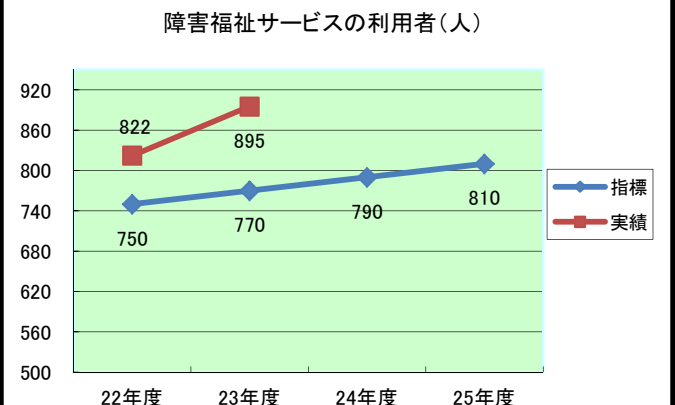
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

障害者自立支援法等改正を踏まえ、「相談支援」や「障害児支援」の制度改正に適切に対応していく必要があります。また、サービス利用者の増加やニーズの多様化に応える福祉資源の確保を図るため、新福祉センターの建設や民間事業者の誘致による整備など着実に進めていきます。さらに、ハード・ソフト両面のバリアフリーを推進し、障害のある人となない人が互いに支えあう地域社会を目指していきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 障害者の自立した暮らし

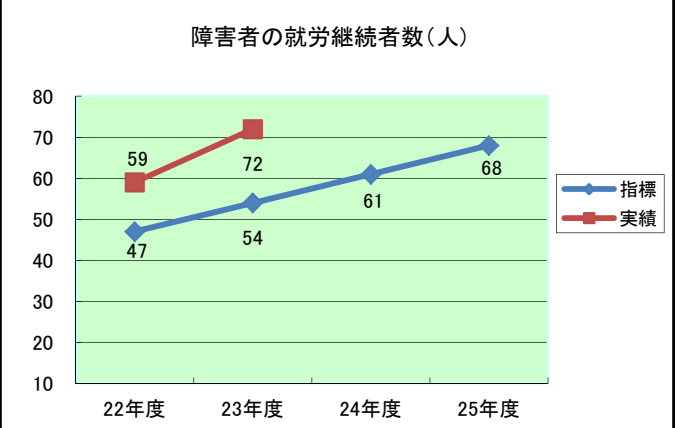
	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	750 人	770 人	790 人	810 人
実績値	822 人	895 人		
達成率	109.6 %	116.2 %		



【取組状況・成果】区の「移動支援従事者養成研修実施要綱」に則った事業者の研修実施の効果により事業者のヘルパー確保が進み、移動支援の伸びが顕著となっています。  
 【課題】サービスを提供する事業者等の充実を図るとともに、障害者の相談に適切に対応する相談支援体制の整備と充実が求められています。

### ② 障害者の就労支援

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	47 人	54 人	61 人	68 人
実績値	59 人	72 人		
達成率	125.5 %	133.3 %		

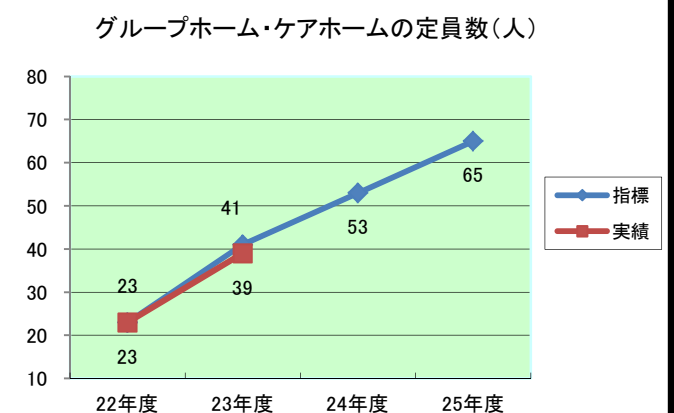


【取組状況・成果】就労支援センターの新規登録者は、引き続き増加しています。登録者に対して、関係機関との連携や企業実習・委託訓練への参加など、各種のきめ細かい支援を実施しました。  
 【課題】就労者の増加に伴い、定着支援などの業務が増大すると共に、複雑化しています。このため、より専門性の高い支援が出来るスタッフの充実と体制整備が必要です。

### ③ 安心して地域生活を継続できるための基盤整備

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	23 人	41 人	53 人	65 人
実績値	23 人	39 人		
達成率	100.0 %	95.1 %		

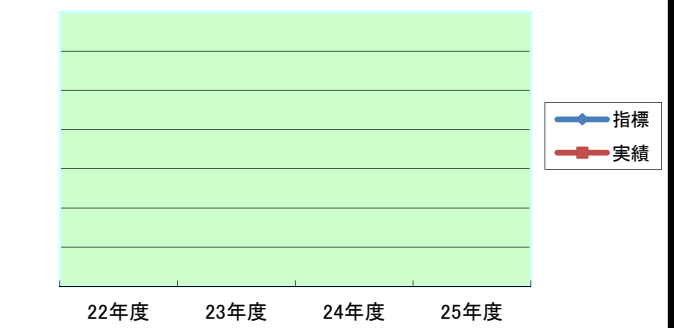
【取組状況・成果】公有地等を活用したグループホーム・ケアホーム整備を進めていくため、整備費補助や開設費用補助による負担軽減を行いました。また、整備の相談等に応じることで民間事業者を支援しました。  
 【課題】施設整備・運営にあたり、近隣地域の理解を得、地域と交流していくことが必要です。



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

B	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

<p>障害福祉サービス利用者数、就労者数ともに引き続き増加しています。グループホーム・ケアホームの整備についてもほぼ目標値を達成できました。今後も増加するニーズに的確に応えていけるよう、グループホーム・ケアホーム等の生活基盤の整備とともに、障害福祉サービスや移動支援事業所等の社会資源の整備、相談支援体制の強化等が必要です。</p>	<p>（昨年度の所見）</p> <p>障害福祉サービス利用者数、就労者数ともに増加傾向にあり、今後も利用者のニーズに的確に応えていく必要があります。そのためには、入所施設やグループホーム・ケアホーム等の生活基盤の整備を始め、施設面やソフト面のサービス拡充を図る必要があります。また、要望の多様化・複雑化に適切に対応することができる相談支援体制の整備にも取組が必要となります。</p>	<p>●将来像の実現に向けた実施計画事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業数</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>総事業費</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22実績</td> <td>116,237</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>H23実績</td> <td>321,839</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>H24予算</td> <td>1,077,775</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>H25予算</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>	事業数	H22	H23	H24	H25		13	13	13		H22実績	116,237	千円	H23実績	321,839	千円	H24予算	1,077,775	千円	H25予算		千円
事業数	H22	H23	H24	H25																				
	13	13	13																					
H22実績	116,237	千円																						
H23実績	321,839	千円																						
H24予算	1,077,775	千円																						
H25予算		千円																						

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

- 障害者総合支援法（平成25年4月施行 障害者範囲見直し等）
- 〃（平成26年4月施行 障害支援区分の変更等）
- 障害者雇用促進法（平成25年4月施行法定雇用率の変更等）

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

障害者総合支援法の施行による、障害者の範囲の見直し、ケアホームのグループホームへの一元化、障害支援区分への変更等に対し、適切に対応していく必要があります。  
 サービス利用者の増加やニーズの多様化に応じていけるように、新福祉センターの建設及び民間事業所の誘致による整備などを着実に進めていきます。障害者の就労支援については、就職準備支援だけでなく、今後も増大が見込まれる職場定着支援の充実を図るため、専門性の高い支援が出来るスタッフの充実と支援体制の整備が必要です。  
 区において、障害の種別に合わせた適切な媒体による情報提供を充実する情報バリアフリーの取組について、検討を進めていきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	福祉・健康	中項目	生活福祉
将来像	だれもが住み慣れたところで自立して暮らせる、セーフティネットのあるまち			
個別計画	地域福祉保健計画			
所管部	福祉部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

リーマンショック以降、急激な景気低迷により雇用環境が悪化し、本区の被生活保護世帯は、平成21年度には、前年度比12%増の1,668世帯に達しました。  
 また、生活保護受給に至らなくとも就労ができず、生活に困窮している世帯も増加しており、路上生活者も22年1月現在で67人います。一方で、母子家庭や女性を取り巻く経済的・精神的な状況も深刻化しています。  
 このような状況の中、生活保護受給者の自立した生活や、路上生活者の社会復帰等を実現するため、生活保護受給者自立支援事業、路上生活者対策事業等に取り組みます。  
 また、生活上の深刻な課題を抱えた母子家庭や女性の自立を支援するため、母子・女性緊急一時保護事業等に取り組みます。

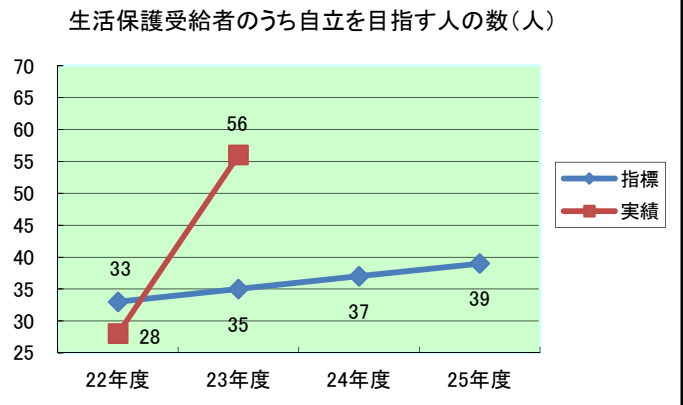
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

厳しい雇用情勢が続く中で、生活困窮者やひとり親家庭など福祉サービスを必要とする人の数は増加し、内容も深刻化する傾向があります。  
 そのため、区の関係部署をはじめ、行政機関、医療機関、民生委員やNPOなどの関係機関によるセーフティネットの構築をより一層図り、更に自立支援を進めていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 生活保護受給者の自立した生活

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	33 人	35 人	37 人	39 人
実績値	28 人	56 人	人	人
達成率	84.8 %	160.0 %	%	%

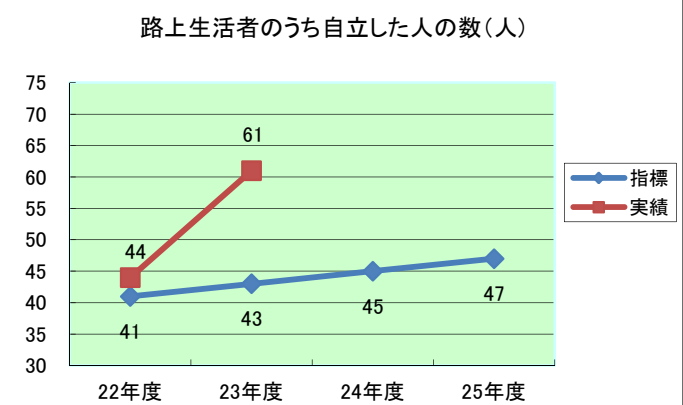


【取組状況・成果】第一線で就労支援を行う各ケースワーカーの意識改革、ハローワークとの連携強化を図った結果、新規就労・増収に繋がった人の数が大幅に上昇しました。

【課題】就労阻害要因が少ないにもかかわらず就労意欲に欠ける人への対応が課題です。

### ② 路上生活者の自立した暮らし

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	41 人	43 人	45 人	47 人
実績値	44 人	61 人	人	人
達成率	107.3 %	141.9 %	%	%



【取組状況・成果】文京寮は平成22年10月から新型自立支援センターに移行し、緊急一時保護と自立支援を一貫して行うことになったことなどから、23年度は就労自立した人の数が大幅に上昇しました。

【課題】長期に渡る路上生活者に対する自立支援が課題です。

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

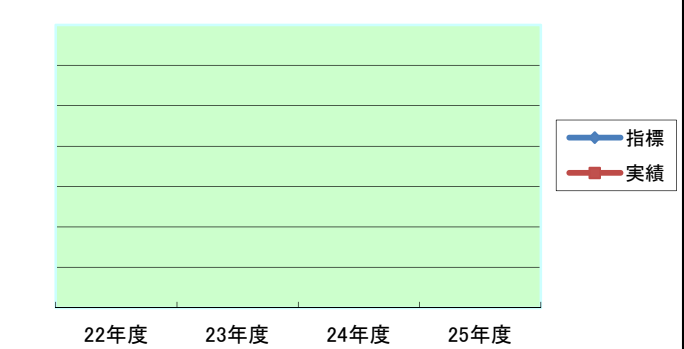
【課題】



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上</li> <li>■ B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存</li> <li>■ C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満</li> </ul>
---	--

## ●中項目全体の成果・課題

23年度は、生活保護受給者及び路上生活者ともに就労自立及び新規就労・増収を図った人の数が大幅に伸びました。24年度はこの傾向が低下することのないよう、引き続き就労・自立の支援を図る必要があります。  
 また、女性や母子家庭からの相談に対しても、関係機関との連携を密にし、適切な対応を行う必要があります。

## （昨年度の所見）

路上生活者の自立者数は指標を上回りましたが、生活保護受給者の就労は指標を下回ったため、今後、生活保護受給者のうち稼働能力のある者の就労支援に力を入れていく必要があります。  
 また、女性や母子家庭からの相談に対しては、引き続き関係機関と連携を図り、適切な対応を取ることがあります。

## ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	8	8	7	
総事業費	H22実績	573,626		千円
	H23実績	532,545		千円
	H24予算	557,042		千円
	H25予算			千円

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

現在、厚生労働省が検討を行っている「生活支援戦略」の行方

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

依然として厳しい雇用情勢の中、生活保護受給者や路上生活者が自立した生活が送れるよう支援していきます。  
 また、引き続き区の関係部署をはじめ、行政機関、医療機関、民生児童委員やNPO等関係機関によるセーフティネットの構築を図り、更に自立支援を進めていきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	福祉・健康	中項目	健康づくり
将来像	だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせるまち			
個別計画	地域福祉保健計画（保健医療計画） 健康ぶんきょう21			
所管部	保健衛生部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

近年、飲酒、喫煙、食事など、生活習慣に起因する疾病が増加するとともに、その疾病による死亡率も増加しています。  
 また、死亡原因第1位であるがんの早期発見・治療が特に求められるとともに、区民の健康づくりをサポートするには、医療機関の連携が必要となっています。  
 そこで、区民の健康づくりを推進するため、環境整備を充実させ、生活習慣病予防対策を推進するとともに、各種健診の充実に取り組みます。  
 また、がんや循環器病など、多くの疾患と関連があるとされる喫煙問題に対し、禁煙支援や受動喫煙防止の対策に取り組みます。  
 さらに、かかりつけ医の定着促進等により地域医療の連携を図ります。

## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

壮年期においては、健診等受けやすい体制を整備するとともに、要精密検査者を医療機関に結びつけることが重要です。区民の65歳健康寿命を伸ばしていくため、高齢者においては介護予防事業を進める等、元気高齢者の割合を高めていきます。また、禁煙支援においては対象者の拡大などを進めていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① がんの早期発見・早期治療【乳がん】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	15.0 %	16.0 %	17.0 %	18.0 %
実績値	15.9 %	17.8 %	%	%
達成率	106.0 %	111.3 %	%	%

【取組状況・成果】ピンクリボンキャンペーン等を通じて乳がん検診の周知徹底を図り、検診期間や実施機関を拡大したことにより、受診率を増やすことができました。

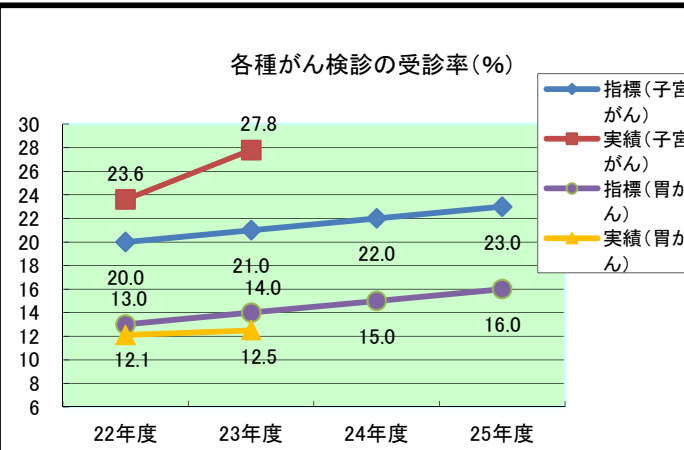
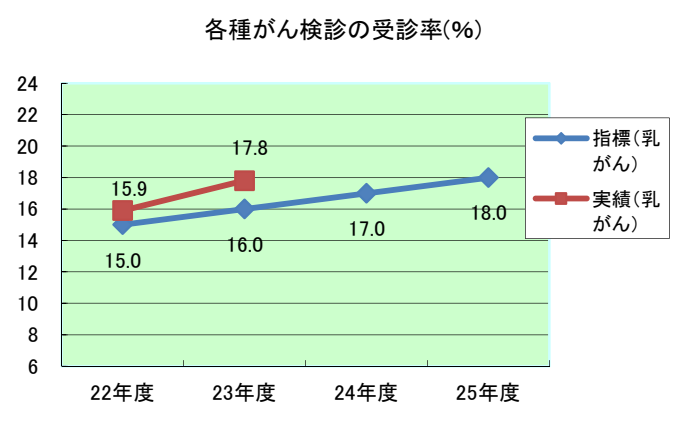
【課題】胃がん検診の受診率が伸びないため、啓発の方法等を検討する必要があります。また、検査内容等、国の動向を見据え速やかに対応していきます。

### ① がんの早期発見・早期治療【子宮がん（A）、胃がん（B）】

	22年度		23年度		24年度		25年度	
	A	B	A	B	A	B	A	B
目標値	20.0	13.0 %	21.0	14.0 %	22.0	15.0 %	23.0	16.0 %
実績値	23.6	12.1 %	27.8	12.5 %	%	%	%	%
達成率	118.0	93.1 %	132.4	89.3 %	%	%	%	%

【取組状況・成果】 同上

【課題】 同上



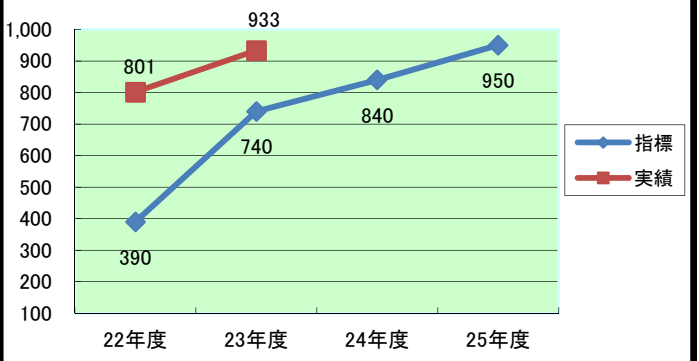
### ② 禁煙支援

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	390 人	740 人	840 人	950 人
実績値	801 人	933 人	人	人
達成率	205.4 %	126.1 %	%	%

【取組状況・成果】一般健康相談、特定保健指導、両親学級等において、呼気中一酸化炭素濃度を測定し、たばこに関する知識の普及や禁煙に向けての相談・指導を実施しました。

【課題】たばこは、喫煙者のみならず、受動喫煙者の健康にも悪影響を及ぼすことから、様々な機会を捉え禁煙教育を実施する必要があります。

### 禁煙教育を受けた人の数(人)



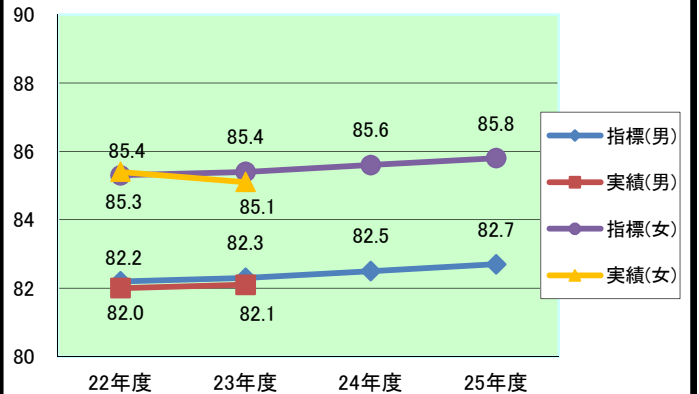
### ③ 区民の健康づくりの推進

	22年度		23年度		24年度		25年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
目標値	82.2	85.3 歳	82.3	85.4 歳	82.5	85.6 歳	82.7	85.8 歳
実績値	82.0	85.4 歳	82.1	85.1 歳	歳	歳	歳	歳
達成率	99.8	100.1 %	99.8	99.6 %	%	%	%	%

【取組状況・成果】各種がん検診、健診の受診率の向上の対策により、区民が健康づくりに取り組むための環境整備に努めるとともに、講演会等による普及啓発を行いました。

【課題】普及啓発や地域の医療機関等との連携により、今後もすべての区民に対する健康づくりを進める必要があります。

### 区民の65歳健康寿命(歳)



## 3 評価

B	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

がん検診の受診率はいずれも上昇傾向にありますが、国の目標受診率50%を達成できていません。引き続きがん検診の重要性等を啓発していくとともに、受診しやすい環境づくりを進める必要があります。  
 禁煙支援については、一般健康相談や特定保健指導等の成人保健事業の中でも禁煙教育を推進しました。また、教育委員会と連携して区立小学校5年生にリーフレットを配布し、子どもへの啓発を図りました。  
 肺炎の重症化予防を目的に、高齢者肺炎球菌予防接種の一部助成を開始しました。予防接種の意義の理解を深めるよう、さらに啓発に努める必要があります。

### (昨年度の所見)

がん検診は、がん対策推進基本計画の目標が50%であることを踏まえ、引き続き受診率向上のため、検診の重要性を周知、啓発していくとともに、がんの早期発見だけでなく、生活習慣の改善などががん予防に関する取組の充実を図り、がん対策を総合的に推進していく必要があります。  
 また、子どもの任意予防接種助成を開始することにより予防接種を受けやすい環境を整備することができ、感染症予防対策の強化につながりました。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
		11	11	11
総事業費	H22実績	779,318 千円		
	H23実績	929,730 千円		
	H24予算	1,012,013 千円		
	H25予算	千円		

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

がん対策推進基本計画（平成24年度～平成28年度）健康日本21（第二次）における喫煙に関する数値目標設定

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

国の指針に基づくがん検診を実施していますが、胃がん検診における内視鏡検査や乳がん検診におけるエコー検査等の要望も増えています。一方、国のがん対策推進基本計画が新たに策定され、指針の見直しも行われ始めています。国の検討動向を注視し、受診しやすいがん検診の体制を作っていきます。  
 禁煙支援については、区報・ホームページ等で、煙草の健康への影響や慢性閉塞性肺疾患（COPD）について普及啓発していきます。  
 「健康ぶんきょう21」と統合した新たな保健医療計画に基づき、健康づくりについて総合的に取り組んでいきます。



# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	福祉・健康	中項目	生活衛生環境
将来像	だれもが快適で健康に暮らせる、安全で清潔なまち			
個別計画	保健医療計画			
所管部	保健衛生部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

平成20年の新型インフルエンザをはじめ、近年、新興・再興感染症の流行が起きています。また、食に関する区民からの健康被害相談や食中毒の発生など、食に関する問題も生じています。さらに、公衆浴場等の入浴施設における水質事故も発生しています。そこで、今後も発生しうる大規模な感染症予防に向けて、健康危機管理体制を充実させます。また、食の安全を守るための監視の充実と普及啓発を行うとともに、生活衛生環境の確保のため、環境衛生監視・指導の充実や、医薬品等の安全対策を推進します。

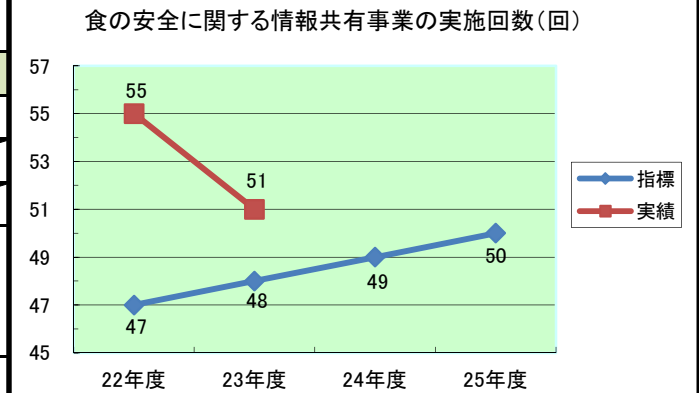
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

事業者に対する監視指導の充実とともに、最新の安全情報・注意喚起情報について啓発を行います。また、食に関する事業者と連携し、より多くの区民に対する食の安全情報の普及に努めます。複数の介護保険施設の浴槽水でのレジオネラ属菌検出事例があり、引き続き監視指導の充実及び講習会の実施による衛生管理の周知に努めます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 食を守るための普及啓発【実施回数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	47 回	48 回	49 回	50 回
実績値	55 回	51 回		
達成率	117.0 %	106.3 %		

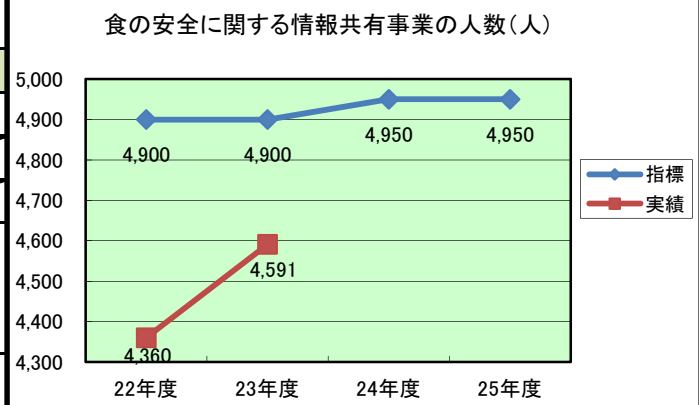


【取組状況・成果】肉の生食に由来する食中毒防止、食品と放射性物質に関すること等、最新の食の安全に関する話題をテーマに講習会等を開催し、情報の提供、リスクの共有化に努めました。

【課題】受講対象者の参加率の向上のため、講習会等の開催時間の設定、周知方法や参加者によるワークショップなどの開催方法を工夫する必要があります。

### ① 食を守るための普及啓発【人数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	4,900 人	4,900 人	4,950 人	4,950 人
実績値	4,360 人	4,591 人		
達成率	89.0 %	93.7 %		



【取組状況・成果】 同上

【課題】 同上

### ② 環境衛生監視・指導の充実【監視・指導件数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	60 件	100 件	112 件	124 件
実績値	59 件	99 件		
達成率	98.3 %	99.0 %		

【取組状況・成果】公衆浴場、旅館業施設、介護保険施設を対象に、年に1回以上の衛生監視指導・水質検査の実施や、入浴施設のレジオネラ症発生防止対策の衛生管理講習会を開催し、レジオネラ症対策についての知識・技術の周知に努めました。

【課題】浴槽水及びシャワー水の水質検査結果において、レジオネラ属菌検出の施設が複数あり、施設に対してなお一層の衛生管理の支援が必要です。

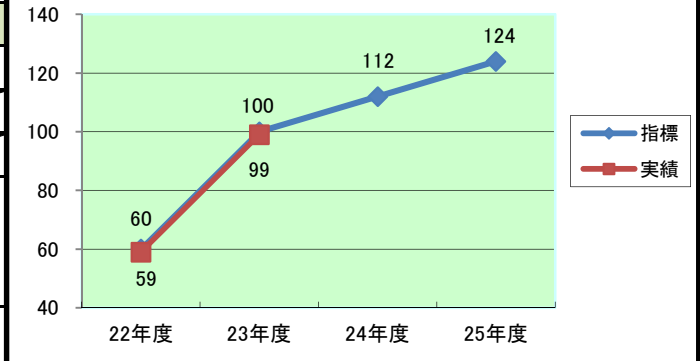
### ② 環境衛生監視・指導の充実【講習会参加施設数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	34 施設	36 施設	42 施設	48 施設
実績値	0 施設	44 施設		
達成率	0.0 %	122.2 %		

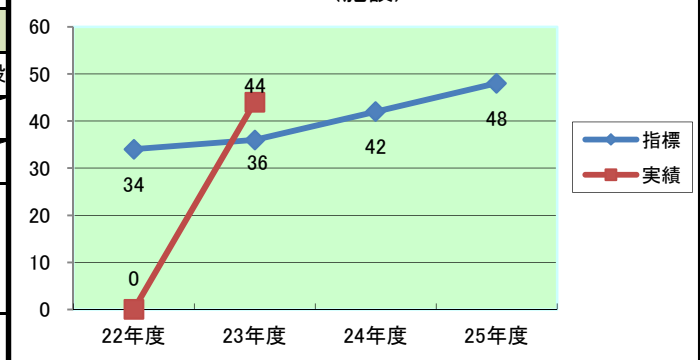
【取組状況・成果】 同上

【課題】 同上

レジオネラ症発生防止対策の監視・指導件数(件)



レジオネラ症発生防止対策の講習会参加施設数(施設)



## 3 評価

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上</li> <li>■ B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存</li> <li>■ C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満</li> </ul>
---	--

### ●中項目全体の成果・課題 (昨年度の所見)

食肉由来の食中毒対策として事業者に対する一斉監視指導の強化とともに、消費者がリスクを認識して消費行動がとれるよう事業者自らが店頭で消費者へ情報提供するよう指導したことにより、区内では食肉由来の食中毒の発生はありませんでした。食の安全情報に対する信頼度を高めるため、講習会開催のほか事業者・消費者参加型のリスクコミュニケーションの事業展開を更に強化する必要があります。

環境衛生対策においては、特にレジオネラ症発生防止対策に取り組み、現場への衛生監視指導や施設向けの衛生管理講習会等を実施しました。講習会への参加施設数は大きな伸びを見せ、レジオネラ症対策への関心の高まりに加え、多くの施設に対策の方法が周知できました。

食品事業者向け事業は、参加者は徐々に増加しています。区民・事業者を対象としたリスクコミュニケーション事業として講演会を開催していますが、参加が少ない課題があります。また、環境衛生対策においては、特にレジオネラ症対策に取り組み、23年度から専門家による講演会を開催し、レジオネラ症対策の必要性を認識できたとの意見をうけており、対策強化の効果が出ています。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	7	7	7	
総事業費	H22実績	207,689		千円
	H23実績	196,549		千円
	H24予算	201,975		千円
	H25予算			千円

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

食品表示一元化検討会報告書のとりまとめ

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

食品事故・違反調査など緊急時の事業者調査対応とともに、区民への適時的確な食の安全に係る情報提供を行い、食の信頼性の向上に取り組みます。特に啓発事業は、事業者・区民ともに食に関する情報を共有する機会として、教育・保育機関や事業団体等と協働して進めます。環境衛生対策においては、浴槽水及びシャワー水の水質検査結果において、レジオネラ属菌検出の施設が複数あり、公衆浴場、旅館業施設、介護保険施設に対して、レジオネラ症対策についての知識・技術の周知を図っていきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	地域コミュニティ
-----------------------	-----	--------------	-----	----------

将来像	みんなが集う、おせっかいのまち			
個別計画				
所管部	企画政策部、区民部、男女協働子育て支援部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

地域においては、町会・自治会などが区と連携して、防犯、防災、環境美化等さまざまな活動を行っており、NPO・ボランティア団体等が自主的、主体的に取り組む活動も活発になってきています。その一方で、地域コミュニティについては、人と人との絆の希薄化や、次世代を担う人材の不足等が指摘されています。そこで、地域コミュニティの核となる、町会・自治会への加入促進に取り組みます。また、地域の課題解決に向けて、あらゆる世代が気軽に地域活動に参加できるよう、交流の場や、活動の場の提供をはじめとする活動支援を行います。

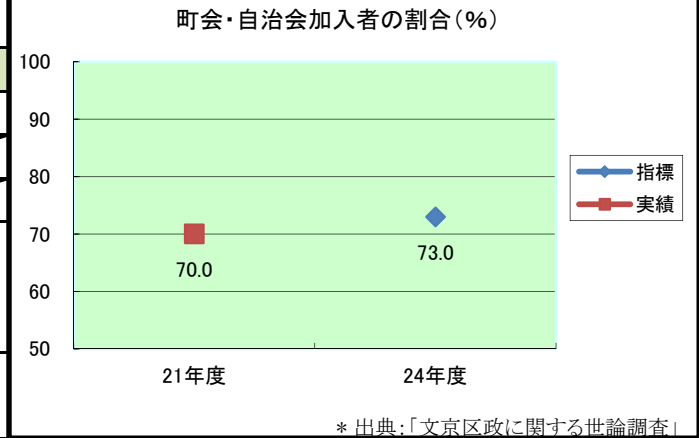
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

地域コミュニティの活性化には、町会・自治会への加入促進や活動の場の提供、人材の育成などの取組が重要です。今後も活力ある地域社会の実現のため、各種広報媒体を活用した町会・自治会への加入促進や、平成20年度に締結した「町会連合会と文京区との相互協力に関する協定書」に基づいた事業に協力するなど、区の支援を継続していく必要があります。また、地域活動センターの建替え、ふれあいサロン事業の充実により地域活動センターの機能強化を進めます。併せて、新たな公共の担い手との協働の観点からも、22年度から開始した地域貢献講座の発展を図ります。さらに、本年7月に設置された新たな公共の担い手専門家会議の提言を受け、地域コミュニティの推進を図ります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 町会・自治会への加入促進

	21年度	23年度	24年度	25年度
目標値	— %	— %	73 %	— %
実績値	70 %	— %	%	%
達成率	— %	— %	%	%

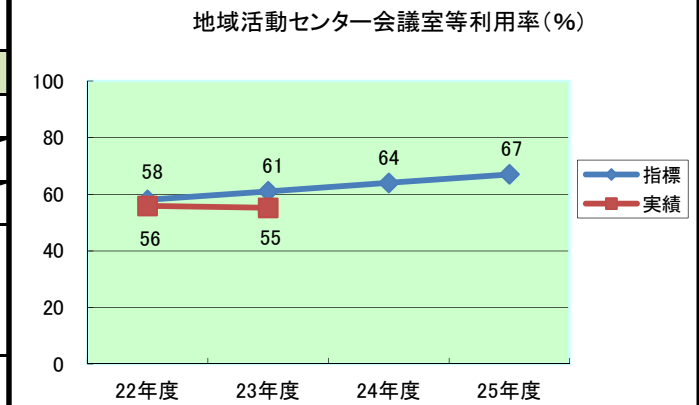


【取組状況・成果】加入促進に対する区の支援として、町会連合会作成の「町会・自治会案内」のポスターやパンフレットの作成を助成し、地域活動センター窓口への配架や、転入者への配布を継続して行っています。また、町会・自治会活動を区報へ掲載し、未加入者への周知を図るなどの啓発に努めています。

【課題】新たな住民や、若い世代の町会離れなどにより町会・自治会の活動が思うようにできない状況があります。加入促進を図るため、区の広報媒体やCATVなどを活用し側面的に支援を続けていく必要があります。

### ② 交流・活動の場の提供

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	58 %	61 %	64 %	67 %
実績値	56 %	55 %	%	%
達成率	96.4 %	90.5 %	%	%



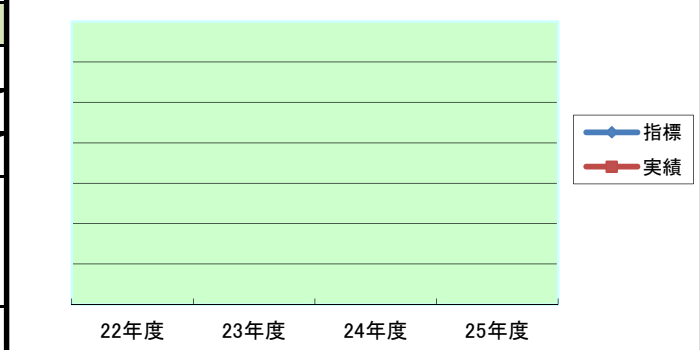
【取組状況・成果】各地域活動センターの施設の整備を行い、地域の拠点として機能を維持・強化しました。また、ふれあいサロン事業では、講座内容の見直しを行い、地域活動を担う人材発掘・育成を目的とした講座を拡充させ、多くの参加を得ています。

【課題】会議室の利用率を高めるには建替えによる施設の整備と、地域の方々が交流を図れるふれあいサロン事業の充実が必要です。

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	%	%	%	%
実績値	%	%	%	%
達成率	%	%	%	%

【取組状況・成果】

【課題】



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	人	人	人	人
実績値	人	人	人	人
達成率	%	%	%	%

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

C	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

## ●中項目全体の成果・課題

町会・自治会加入促進には、広報媒体等を活用し、未加入者への周知を続けていく必要があります。また、今年度の世論調査の結果を踏まえ、新たな加入促進に繋がる支援策の検討をしなければなりません。会議室等の利用は、夏場の節電への協力による利用停止があったため利用率が低下しました。2年目を迎えたふれあいサロンは、汐見・駒込の地域活動センターにおいて事業の拡充を図り、23年度はふれあいサロンPR事業を開催して周知を行い、全体としては22種（30講座）で7,621人の参加がありました。また、各地域活動センターに設置した立ち寄りコーナーなども多くの区民にご利用いただき、地域コミュニティの活性化に繋がっています。

### （昨年度の所見）

町会・自治会加入促進のため、多くの媒体を活用した周知を続けていく必要があります。会議室等の利用は、節電への協力による利用停止があったため利用率が低下しました。ふれあいサロンは、22年度より、汐見・駒込の地域活動センターにおいて事業を開始し、14種（18講座）で4,376人の参加がありました。また、各地域活動センターに設置した立ち寄りコーナーなども、会議室利用者の方をはじめ多くの区民にご利用いただき、地域コミュニティの活性化に繋がっています。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
		8	8	7
総事業費	H22実績	92,068		千円
	H23実績	211,626		千円
	H24予算	341,591		千円
	H25予算			千円

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

東日本大震災の発生（平成23年3月11日）と、これに伴う節電協力による会議室の夜間利用停止（平成23年3～4月、7～8月）は、交流・活動の場の利用率を大きく低下させました。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

地域コミュニティの活性化を図るには、地域の核となる町会・自治会への加入促進や活動の場の提供、人材の育成を支援することなどの取組が重要です。さらなる地域社会の活性化を目指し、広報媒体やITを活用した町会・自治会への加入促進、及び事業への協力を行い、地域活動センターの機能を充実させるなど、区の支援を継続していく必要があります。今後、地域活動センターの建替え、ふれあいサロン事業の充実により、地域活動の場となる地域活動センターの機能強化を進めます。併せて、新たな公共の担い手との協働の観点からも、22年度から開始した地域貢献講座の発展を図ります。さらに、新たな公共の担い手専門家会議の提言を受け、地域コミュニティの推進を図ります。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	産業振興
将来像	豊かな区民生活を支える、活力みなぎる産業と商店のあるまち			
個別計画				
所管部	区民部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

区の主要産業である印刷・製本業や、医療関連産業に加え、近年では、教育・学習支援をはじめとした都市型産業が増加しているほか、産学連携により産業界に新たな活力をもたらそうとする動きも出てきています。

しかし、厳しい経済状況下において、中小企業もまた不安定な経営環境におかれており、商店街については、売り上げの減少や店主の高齢化などの問題が指摘されています。

そこで、活力みなぎる産業のあるまちを目指し、創業・起業支援及び経営環境の安定化支援や産業情報の発信を行うほか、商店街の活性化に向けた取組を支援します。

## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

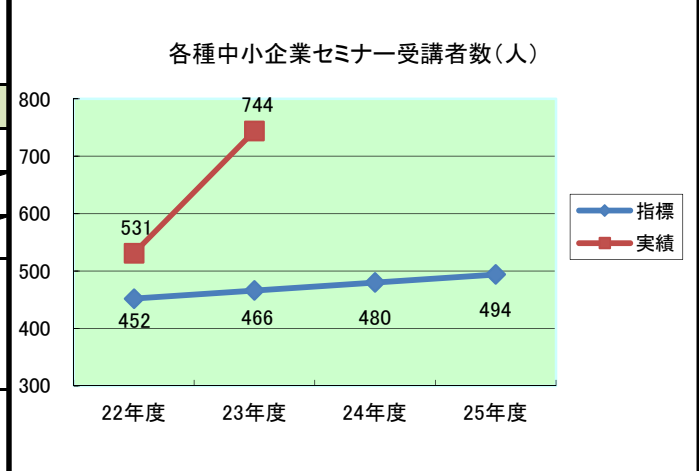
基本構想実施計画に基づき、計画事業を着実に実施していくとともに、産学官連携に向けた新たな施策として、「産学連携イノベーション創出協議会」を設置し、区内大学の研究成果や知的財産を、地域に還元するスキームの構築を目指すなど、産業や商業の活性化に向けた事業の充実を図っていきます。

また、国においても新たな政策展開が検討されており、こうした動きを注視しながら、区としても効果的な事業展開を検討していきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 創業・起業支援及び経営環境の安定化支援【受講者数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	452 人	466 人	480 人	494 人
実績値	531 人	744 人		
達成率	117.5 %	159.7 %		

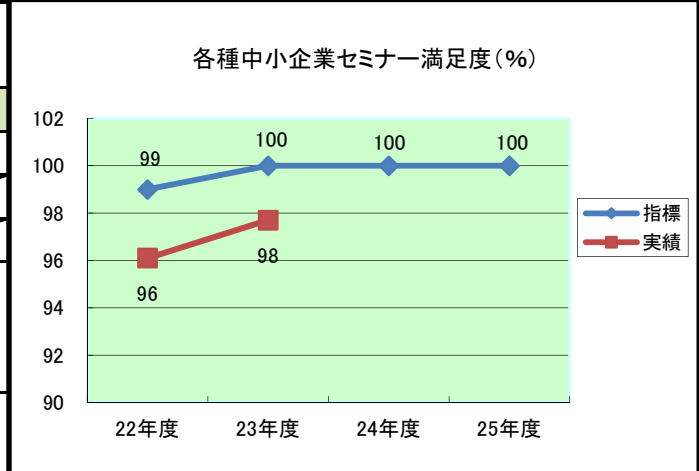


【取組状況・成果】区内中小企業の事業主及び従業員に対し、「決算書の読み方・使い方のポイント」外12セミナー、起業家支援セミナーの導入編・専門編、東京都と共催で「中小企業のBCP（事業継続計画）策定講座」を実施し、多くの方々から好評を得ました。

【課題】社会・経済状況やニーズなどに鑑み、セミナー等を実施していく必要があります。

### ① 創業・起業支援及び経営環境の安定化支援【満足度】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	99 %	100 %	100 %	100 %
実績値	96 %	98 %		
達成率	97.1 %	97.7 %		



【取組状況・成果】同上

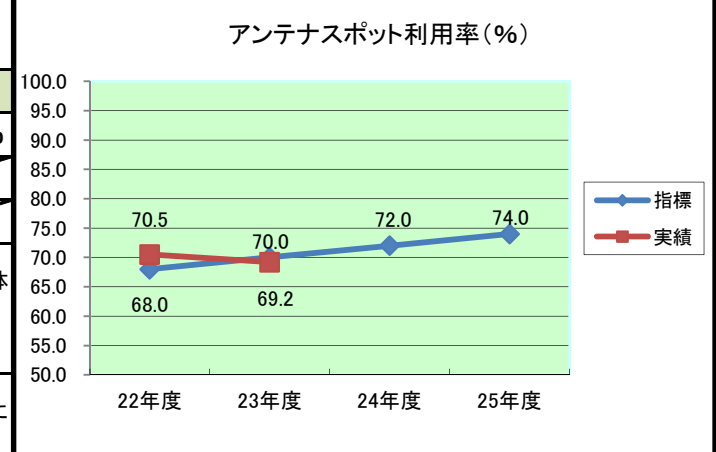
【課題】同上

### ② 産業情報の発信

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	68 %	70 %	72 %	74 %
実績値	71 %	69 %		
達成率	103.7 %	98.9 %		

【取組状況・成果】シビックセンター1階のBunkyoアンテナスポットでは、区の産業振興事業の他、区内産業や商工関係団体、消費生活に係る活動団体等が展示・販売などを通して情報発信を行っています。3年目に入り、他県自治体による物産・案内など、多種多様にスペースを活用しています。

【課題】古書組合や区商連ポイントカード委員会、被災自治体の物産展など、新たな利用がありました。引き続き活用する団体を増やすなど、有効に活用できるよう検討していきます。

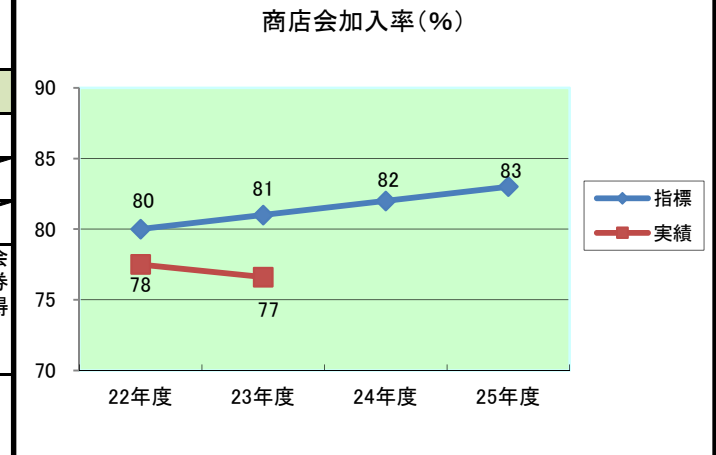


### ③ 商店街の活性化

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	80 %	81 %	82 %	83 %
実績値	78 %	77 %		
達成率	96.9 %	94.6 %		

【取組状況・成果】各商店会では、新規あるいは未加入店舗に対して商店会への加入を促進し、商店街の基盤強化を目指しています。23年度はお買物券の発行などの取り組みを行いました。しかし、店舗移転や閉店などやむを得ない事情で退会するなど加入率上昇にはつながっていません。

【課題】商店会に加入して良かったと思うような、魅力あるメリット等を明確にし、周知できるように検討していく必要があります。



## 3 評価

B	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

中小企業セミナーは、内容や実施回数を充実したことにより、目標を大きく超える参加者がありました。23年度に実施した区内共通お買物券はすべて完売し、区内消費の喚起につなげることができ、24年度も同規模で実施することになっています。

しかしながら、経済状況は引き続き低迷した状態にあり、産業・商業ともに新たな取り組みが求められる状況は続いています。

### （昨年度の所見）

中小企業セミナーの受講者数やアンテナスポットの利用者は、目標値を達成するなど一定の成果はあがっています。また、新たな制度融資の創設や商店街が発行する「お買物券」への助成など、新規事業を展開してきています。

しかしながら、目に見えて産業が活性化し、経済が上向いてきているとは言えない状況にあります。

このため、より効果的な施策展開が求められます。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
		21	21	21
総事業費	H22実績	597,678		千円
	H23実績	585,406		千円
	H24予算	627,240		千円
	H25予算			千円

### 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

海外経済情勢においても状況好転の材料は見られず、円高傾向も継続していることから、厳しい経済状況が続くものと思われます。

### 6 今後の方向性

基本構想実施計画に基づき、計画事業を着実に実施していくとともに、今年度に立ち上げた「イノベーション創出協議会」から今年度中に提出される提言を踏まえ、文京区の創業支援施設の創設や、地場産業と大学との産学連携の取り組みなどを検討していきます。引き続き産業や商業の活性化に向けた事業の充実を図り、より効果的な施策展開につなげていきます。

### 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
将来像	いつでも、だれでも、自分に合った「学び」と出会えるまち			
個別計画	アカデミー推進計画			
所管部	アカデミー推進部、教育推進部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

区は、これまで、大学をはじめとした多くの教育機関・文化施設などを活用し、区民にさまざまな形で還元するために、多様な学習機会及び発表の場を提供することにより、「区内まるごとキャンパス化」に取り組んできました。区民の生涯学習への関心は、年々高まっており、その学びや、活動の成果を地域で活かしたいといった要望もあがってきています。

今後、さらに教育機関等との連携を強化し、区民のニーズにあったバラエティに富む生涯学習の機会を提供できるよう、事業を展開するとともに、情報発信による「学び」との出会いの支援、学習成果を活かす機会の提供等にも取り組んでいく必要があります。

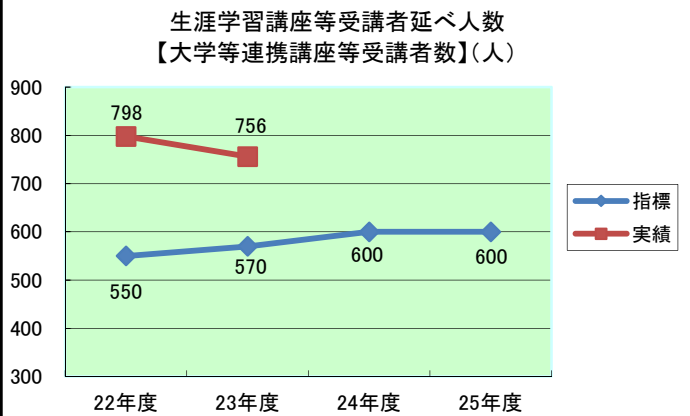
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

平成22年1月に実施した「アカデミー推進計画基礎調査」では、調査期直前の1年間で生涯学習に取り組んだことのある人は41.4%にとどまっております。また、生涯学習に取り組んでいない理由として、「十分な情報が得られないから」が男性60歳代と女性30歳代で3割を超えています。このため、平成23年3月に策定した「文京区アカデミー推進計画」に基づき、いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供や、一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供等の充実を図っていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① バラエティに富む生涯学習機会の提供【大学等連携講座等受講者数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	550 人	570 人	600 人	600 人
実績値	798 人	756 人		
達成率	145.1 %	132.6 %		

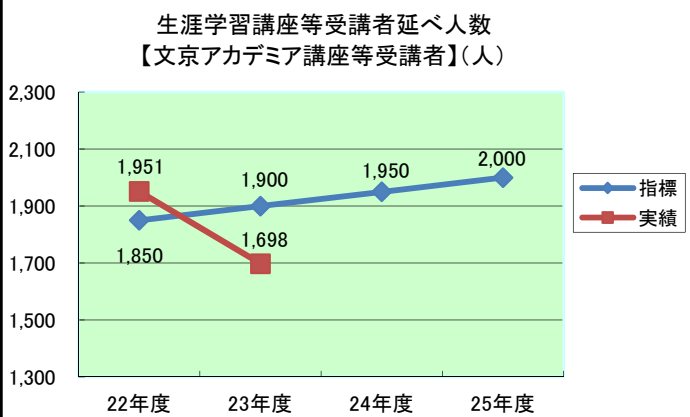


【取組状況・成果】大学等連携講座は増加（26講座から29講座）しましたが、定員の多い講座が少なかったため受講者数は若干減少しました。アカデミー講座は、学習推進委員会改編の影響で一時的な企画提案の減などがあり、講座数（63講座から50講座）、受講者数とも減少しました。

【課題】引き続き関係機関との連携強化に努めていくことが必要です。また、個々の講座内容も精査して区民ニーズに応じていくことが必要です。

### ① バラエティに富む生涯学習機会の提供【文京アカデミア講座等受講者数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,850 人	1,900 人	1,950 人	2,000 人
実績値	1,951 人	1,698 人		
達成率	105.5 %	89.4 %		



【取組状況・成果】同上

【課題】同上

### ② 情報発信及び成果を活かす機会の提供【参加大学・団体数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	50 団体	55 団体	60 団体	65 団体
実績値	56 団体	81 団体		
達成率	112.0 %	147.3 %		

【取組状況・成果】アートサロン、アカデミー文京に加え、23年度からギャラリーシビックも使用しました。これに伴い、参加団体数も大幅に増加しました。

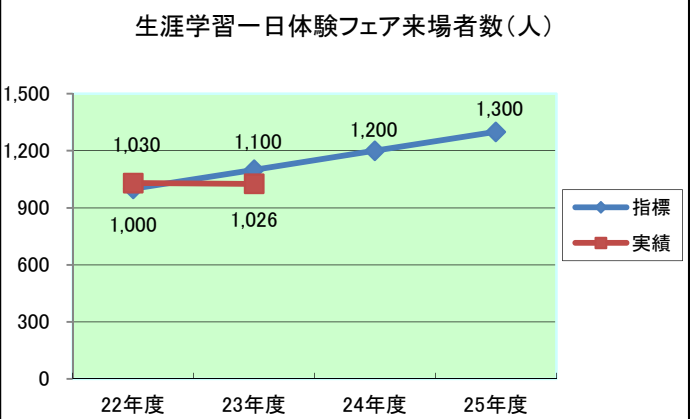
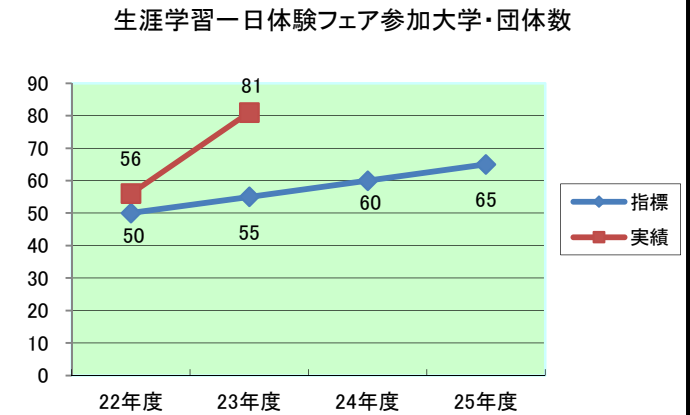
【課題】会場の使用方法も定着し、各種団体への事業の浸透も進んでいます。来場者アンケートでは概ね好評を得ているため、今後は効果的な広報を行い、来場者の増加を図ることが必要です。

### ② 情報発信及び成果を活かす機会の提供【来場者数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,000 人	1,100 人	1,200 人	1,300 人
実績値	1,030 人	1,026 人		
達成率	103.0 %	93.3 %		

【取組状況・成果】同上

【課題】同上



## 3 評価

B	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題 (昨年度の見)

<p>より多くの区民が自分に合った「学び」を見つけることができるよう、大学等との連携講座やアカデミア講座など、バラエティに富む生涯学習機会を提供しました。アカデミア講座のアンケートでは、多くの講座で80%以上の満足度を得ることができました。また、生涯学習一日体験フェアでは参加団体の大幅な増加が見られ、昨年度以上に多様な情報提供ができました。</p> <p>今後とも、いきいきアカデミア（旧高齢者大学）やこどもアカデミア等様々な世代のニーズに沿った講座を充実させるとともに、多様な広報媒体を活用した情報提供をすることで、生涯学習について知ってもらえるきっかけを作っていく必要があります。</p>	<p>より多くの区民が自分に合った「学び」を見つけることができるよう、大学等との連携講座やアカデミア講座など、バラエティに富む生涯学習機会を提供しました。また、生涯学習一日体験フェアでは、区民に対し、生涯学習活動成果を発表する場や学習相談、学習情報を提供することができました。</p> <p>今後とも、講座受講者の満足度を高めるよう、講座内容の充実を図るとともに、区民の生涯学習活動への参加を促すための取組を進めていく必要があります。</p>
---	---

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	8	8	7	
	総事業費			
	H22実績	28,316 千円		
	H23実績	37,453 千円		
H24予算	31,779 千円			
H25予算	千円			

### 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

- ・東日本大震災の発生（平成23年3月11日）
- ・節電協力による施設の夜間利用停止（平成23年3～4月、7～8月）

### 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

### 6 今後の方向性

アカデミア講座や生涯学習一日体験フェアでのアンケートでは概ね良い評価を得ているものの、受講者・参加者数では減少も見られます。

そのため、今後とも「文京区アカデミー推進計画」に基づき、いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会を提供し、一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供等の充実を図っていくことで、より多くの区民に生涯学習に親しんでもらえる環境づくりに努めていきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
将来像	「文の京」の文化や歴史を伝承し、創造する、心豊かで潤いのあるまち			
個別計画	アカデミー推進計画			
所管部	アカデミー推進部			

**1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」**

区には、江戸の面影を色濃く伝える史跡等が残り、森鷗外や、夏目漱石などの文人とも縁のあるまちです。また、美術館、博物館などの文化資産が数多く存在し、歴史と文化にふれることができるまちとしての魅力を持っています。このような地域の特性を有効に活用し、区民が歴史や文化にふれ、主体的、自発的に文化・芸術活動に関わることができる環境づくりや、それらの活動の成果を発表できる場の提供が求められています。

**●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」**

平成22年1月に実施した「アカデミー推進計画基礎調査」では、調査期日前1年間で文化芸術活動に参加も鑑賞もしていない人は33.4%にのぼっています。その主な理由は「多忙である」が54.5%、「情報不足」が22.9%となっています。このため、平成23年3月に策定した「文京区アカデミー推進計画」に基づき、誰もが気軽に文化芸術に触れることができるよう、鑑賞や参加の機会と場所の提供等に努めていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 文化・芸術との主体的・自発的に関わる環境づくり

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	7,100 人	8,400 人	8,600 人	8,800 人
実績値	8,702 人	10,283 人		
達成率	122.6 %	122.4 %		

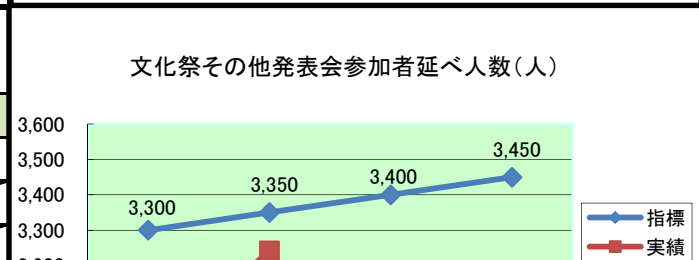


【取組状況・成果】22年度に新たに事業協定を結んだシエナ・ウィンド・オーケストラによる事業（大・小ホール各1事業）が加わり、来場者数が大幅に増えました。また、公演ごとの来場者数も増え、芸術鑑賞事業が定着してきたことがうかがえます。

【課題】子ども向け事業、出前コンサートなどのアウトリーチ事業を効果的に行うことで、引き続き誰もが気軽に文化芸術に触れるきっかけを作り続ける必要があります。

### ② 活動成果発表の場の提供

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	3,300 人	3,350 人	3,400 人	3,450 人
実績値	2,948 人	3,241 人		
達成率	89.3 %	96.7 %		



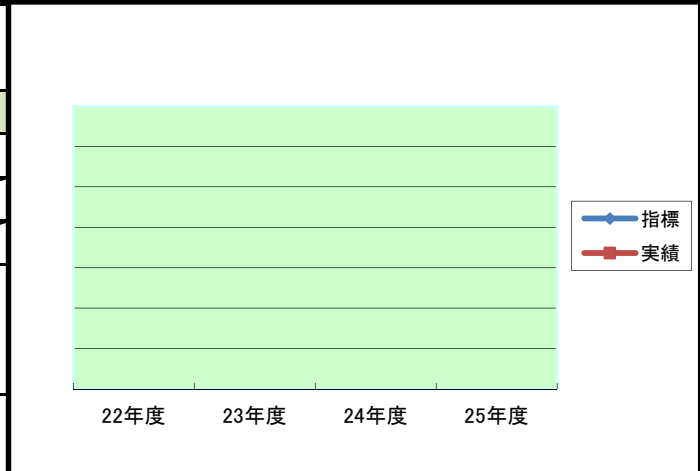
【取組状況・成果】例年同様、各種つどい・大会と、秋の文化祭等を開催しました。予てより申込みの多かった「合唱のつどい」について出演枠を10団体を増やしたことで、目標値に近い成果をあげられました。

【課題】各運営団体・参加者ともに高齢化・硬直化が進み、一層の活性化や、若年層や新たな参加者の確保に努める必要があります。

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

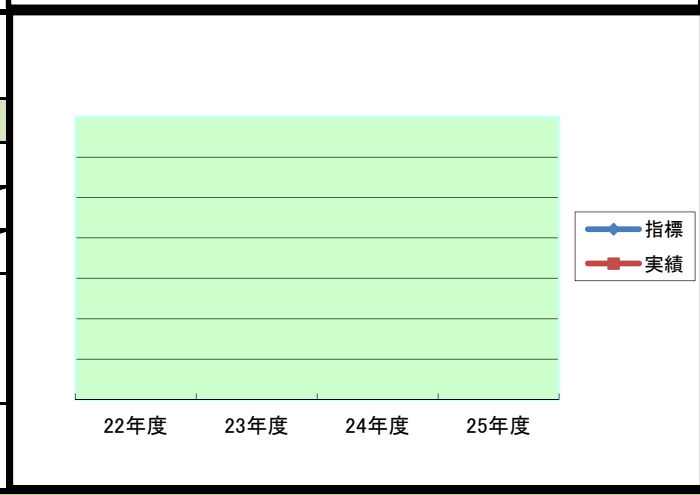
【課題】



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

**B**

- A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上
- B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
- C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

区民等がより気軽に、上質な文化・芸術に親しむ場となるよう、引き続き、シビックホールにおける芸術鑑賞事業や、区内の学校や地域施設でのアウトリーチ事業を実施し、幅広い鑑賞機会を提供してきました。また、文化祭や各種つどいを実施することで活動及び発表の場の提供に努め、「合唱のつどい」においては出演枠を増やしたほか、区所蔵作品展に加え、『青鞥』創刊100周年を記念した講演・展示を行うなど、本区の文化的・芸術的な活動の支援を行いました。今後も、多くの区民等の文化芸術活動がより活発となるよう機会の充実を図り、その事業展開を研究していく必要があります。

### (昨年度の所見)

区民等がより気軽に、よりレベルの高い文化芸術に触れることができるよう、これまでの事業を継続しつつ様々な工夫をしてきました。響きの森文京公会堂10周年記念事業では、海外の有名オーケストラを招聘したり、名誉館長による歌舞伎の公演なども開催し、その結果、多くの区民等に楽しんでもらうことができました。文化祭の出品者においては、区内大学に呼びかけることで若年者の出品が増加し、日本画ではその将来性が期待されて区長賞を受賞しました。今後は区内大学への呼びかけをさらに強化していく必要があります。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	5	5	5	
総事業費	H22実績	465,453 千円		
	H23実績	306,788 千円		
	H24予算	353,723 千円		
	H25予算	千円		

### 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

- ・東日本大震災の発生（平成23年3月11日）
- ・節電協力による施設の夜間利用停止（平成23年3～4月、7～8月）

### 6 今後の方向性

区民の文化芸術活動がより活発なものとなるよう、誰もが気軽に文化芸術に触れることができる環境を整備し、鑑賞や参加の機会と場所の提供等に努めていきます。そのため、引き続き、鑑賞者・参加者が高い関心を持ち、充足感が得られるよう、ニーズに対し迅速かつ的確に対応するとともに、企画段階から参加意欲の向上を意識した事業展開を図ります。併せて、情報提供の内容や方法の精査を図り、より分かりやすく幅広い情報を発信し、文化・芸術の普及と発展に努めていきます。

### 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	スポーツ振興
-----------------------	-----	--------------	-----	--------

将来像	だれもが、いつでも、安全にスポーツを親しめるまち			
個別計画	アカデミー推進計画			
所管部	アカデミー推進部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

平成22年に区が行ったアンケートによると、成人の区民で日頃スポーツをしていない人の割合は50.4%に達します。  
 また、スポーツをしない理由としては、「忙しいから」が45.7%と最も多く、次いで「きっかけがないから」が25%となっています。  
 これらの人が、身近な場所でいつでもスポーツに親しめるよう、施設などの環境整備を行うとともに、多様なスポーツを行う機会を提供するため、指導者の育成と地域派遣をさらに進めます。  
 また、スポーツの魅力を広く伝えるため、スポーツ関係団体等との連携を強化するとともに、スポーツ関連情報の効果的な発信に努めます。

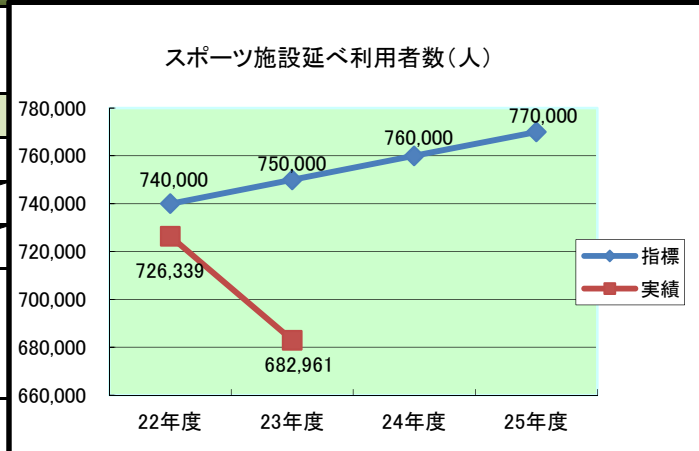
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

身近な場所でスポーツに親しめる場を提供するため、各種施設の環境整備と区民ニーズを踏まえた効果的な情報の提供を行います。また、多様なスポーツの指導方法を習熟した指導者の確保と育成を図り、地域派遣等により区民スポーツの質と満足度の向上を図ります。  
 多様なスポーツ関係団体等や教育関係機関等との連携・協力体制を整備・構築し、広く区民ニーズに応える協働事業を展開していきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① いつでもスポーツに親しめる環境

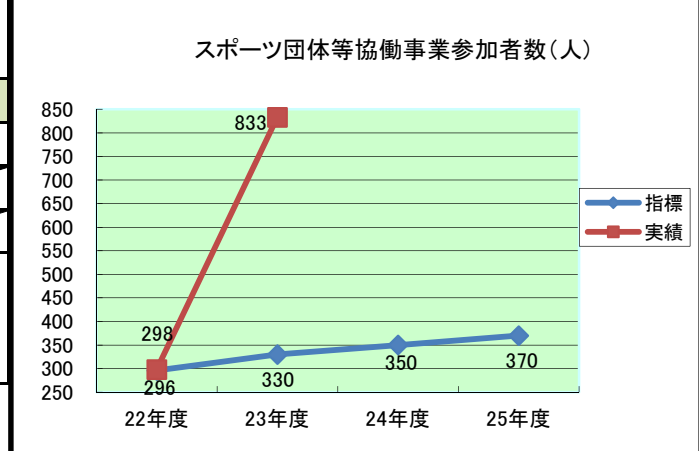
	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	740,000 人	750,000 人	760,000 人	770,000 人
実績値	726,339 人	682,961 人		
達成率	98.2 %	91.1 %		



【取組状況・成果】震災により休館や時間短縮開館をしました。平成24年4月に江戸川橋体育館が開館、小石川運動場がリニューアルオープンしました。また、25年4月に開館する新総合体育館の整備など、施設の充実を図ります。  
 【課題】施設の老朽化部分を計画的に改修する必要があります。

### ② スポーツ関係団体との連携強化

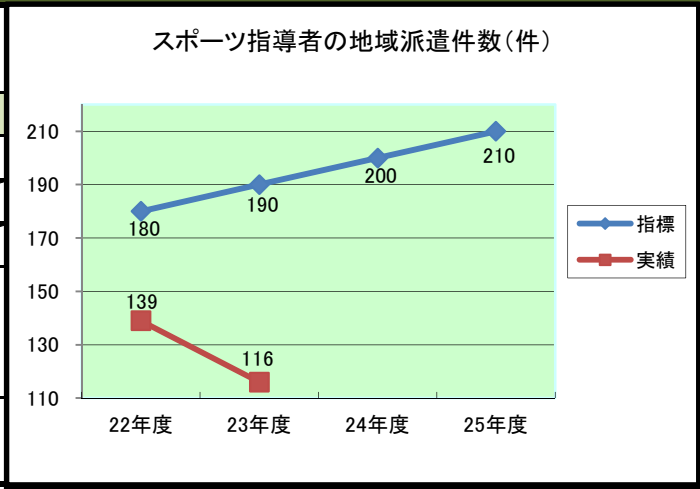
	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	296 人	330 人	350 人	370 人
実績値	298 人	833 人		
達成率	100.7 %	252.4 %		



【取組状況・成果】元日本代表を迎えたサッカー教室と読売巨人軍区民感謝デーを昨年度と同様に開催したほか、セミナーやパブリックビューイングなど新たな事業を展開し、多くの方に参加していただきました。  
 【課題】教育関係機関との連携・協力体制を整備し、大学や地元のクラブチームとの事業を検討していきます。

### ③ 区民のスポーツ技術の向上

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	180 件	190 件	200 件	210 件
実績値	139 件	116 件		
達成率	77.2 %	61.1 %		

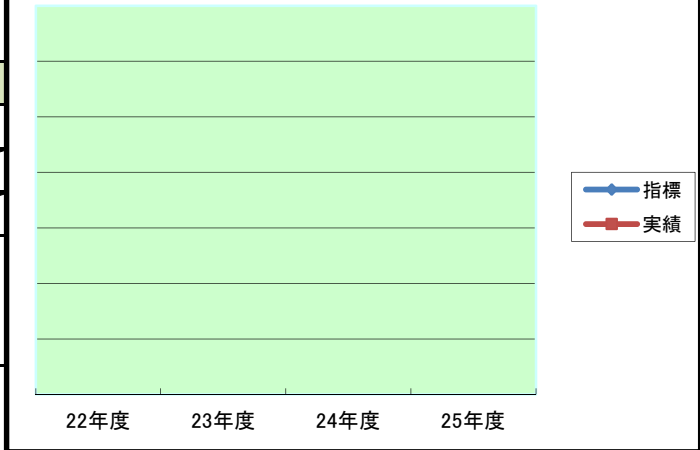


【取組状況・成果】区内のスポーツクラブ等に指導者を派遣し、技術向上のための支援を行っています。23年度はスポーツ推進委員64単位、スポーツリーダー52単位を派遣しました。

【課題】利用団体や種目が固定化しているため、制度を広く周知し、利用団体を増やすことが必要です。

### 3 評価

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				



【取組状況・成果】

【課題】

**B**

- A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上
- B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
- C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題 (昨年度の所見)

スポーツ施設の利用者数については、小石川運動場の改修工事による休場や東日本大震災の影響による休館や時間短縮開館の実施等で、目標値には至りませんでした。  
 協働事業参加者は新たな事業を実施した結果、目標の2倍数値を達成しました。  
 地域派遣については、制度活用やPRの方法検討が引き続き課題です。

#### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	6	6	5	
総事業費	H22実績	262,503 千円		
	H23実績	862,566 千円		
	H24予算	124,443 千円		
	H25予算			千円

### 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化 6 今後の方向性

東日本大震災や節電に伴う夜間利用中止による施設の利用人数減少がありました。また、平成24年4月には江戸川橋体育館と休場していた小石川運動場がリニューアルオープンしました。

身近な場所でスポーツに親しめる場を提供するため、各種施設の環境整備と区民ニーズを踏まえた効果的な情報の提供を行います。また、多様なスポーツの指導方法を熟知した指導者を確保、育成し、地域派遣等により区民のスポーツ活動の満足度の向上を図ります。  
 多数のスポーツ関係団体や教育関係機関等との連携・協力体制を整備・構築し、広く区民のニーズに応える協働事業を展開していきます。

### 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	観光
将来像	何度も訪れたい、魅力とおもてなしの心あふれるまち			
個別計画	アカデミー推進計画			
所管部	アカデミー推進部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

区内には、歴史・文化を中心とした多くの観光資源が点在しています。これら文京区の魅力を来訪者に対してわかりやすく、正しく伝えることが必要となります。  
 そのため、案内板や観光マップ等による観光情報の提供とともに、観光ガイド等の人材育成などを行い、観光案内の充実を図り、来訪者をおもてなしの心で迎え入れる環境づくりを進めていきます。  
 また、まちあるきなどの来訪者への情報を迅速に提供するため、区内の観光拠点を整備します。

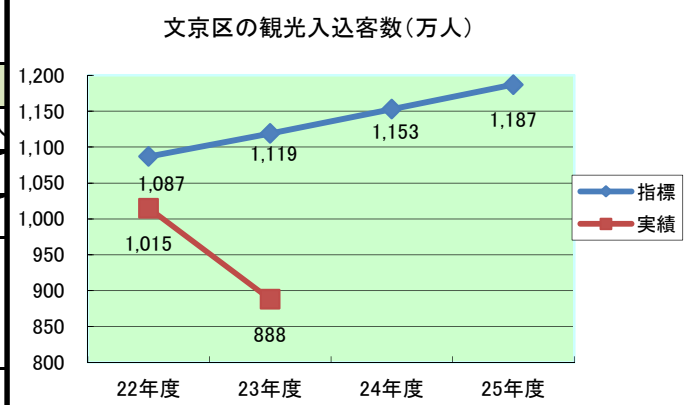
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

今後とも、来訪の目的や来訪者の年代などに応じて、そのニーズにあった多種多様な観光情報の発信に努めていくことが求められています。  
 このため、来訪者が不安や不便を感じず本区の魅力を堪能できるよう、観光ガイドの育成・活用による案内など、おもてなしの心を持ってあたたかく迎え入れる雰囲気醸成を引き続き図ります。また、区内菓子店が開発する土産菓子について、積極的な情報発信に努め、本区のまちあるきの魅力を一層高めていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 何度も訪れたいまち

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	1,087 万人	1,119 万人	1,153 万人	1,187 万人
実績値	1,015 万人	888 万人	万人	万人
達成率	93.4 %	79.4 %	%	%

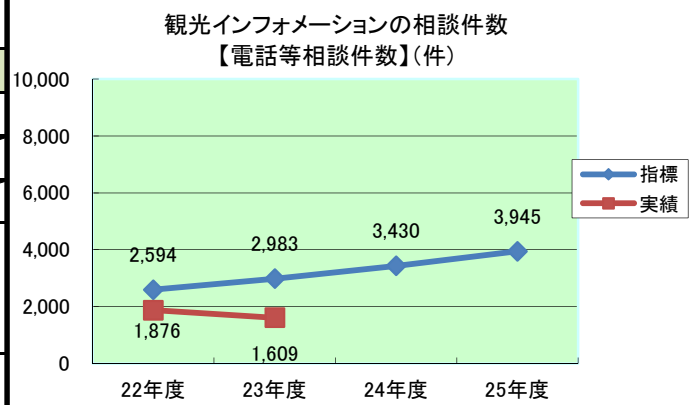


【取組状況・成果】ハード面では、文京区案内標識統一化計画を9月に策定し、今後標識の整備を進める予定です。ソフト面では、「文の京ゆかりの文人銘菓」による観光振興を進めているほか、第2期観光ガイドも養成中です。

【課題】東日本大震災等の影響を受け、観光客数の減少が見られたことから、区のまちあるきの一層の魅力向上とその積極的なPRに努める必要があります。

### ② 区内の観光資源の周知【電話等相談件数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	2,594 件	2,983 件	3,430 件	3,945 件
実績値	1,876 件	1,609 件	件	件
達成率	72.3 %	53.9 %	%	%



【取組状況・成果】観光インフォメーション窓口における案内に加え、観光ガイドが本格的に活動を開始しました。また、シビックセンター25階展望ラウンジにおいて、映像設備による情報発信も開始しました。

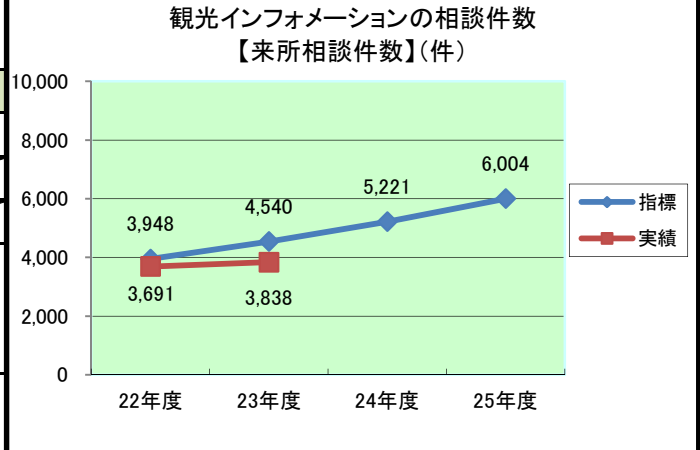
【課題】相談件数が伸び悩んでいることから、積極的なPRにより観光インフォメーションの認知度を高め、潜在的な需要の掘り起こしを図る必要があります。

## ② 区内の観光資源の周知【来所相談件数】

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	3,948 件	4,540 件	5,221 件	6,004 件
実績値	3,691 件	3,838 件	件	件
達成率	93.5 %	84.5 %	%	%

【取組状況・成果】同左

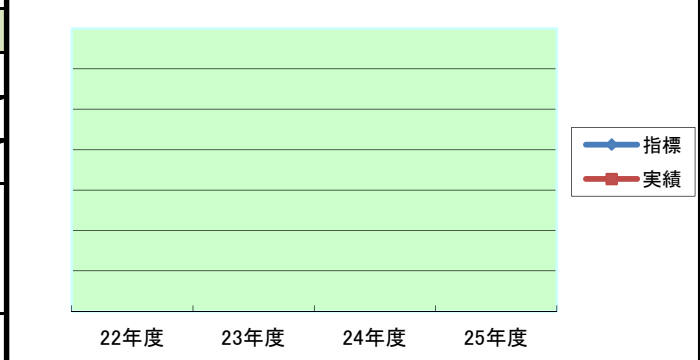
【課題】同左



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

C	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

## ●中項目全体の成果・課題 (昨年度の所見)

文京区内の案内標識等を統一化し、より理解しやすいものとするための計画を策定するとともに、来訪者をおもてなしの心で迎え入れる観光ガイドが本格的に活動を開始しました。また、「文の京ゆかりの文人銘菓」を認定し、まちあるきに「食」の魅力を加えました。  
 今後は、計画に基づく新標識の着実な整備や、観光ガイドの利用促進、区内ロケーション撮影受入態勢の整備等を進めながら、観光インフォメーションやホームページ等を十分に活用して、一層積極的な情報発信に取り組む必要があります。

事業数	H22	H23	H24	H25
		7	7	6
総事業費	H22実績	38,170		千円
	H23実績	53,954		千円
	H24予算	41,260		千円
	H25予算			千円

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

東日本大震災の発生（平成23年3月11日）

## 6 今後の方向性

今後とも、来訪の目的や来訪者の年代などに応じて、そのニーズに合った多種多様な観光情報の発信に努めていくことが求められています。  
 このため、観光ガイドの育成・活用による案内など、おもてなしの心を持ってあたたかく迎え入れる雰囲気醸成を引き続き図ります。また、区内ロケーション撮影受入態勢の整備を進めることにより、テレビ・映画等を通じた情報発信に努めるほか、区内菓子店が開発した「文の京ゆかりの文人銘菓」を積極的にPRすることにより、本区のまちあるきの魅力を一層高めていきます。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
-----------------------	-----	--------------	-----	----

将来像	交流の輪を広げ、互いの魅力を高め合うまち			
個別計画	アカデミー推進計画			
所管部	区民部、アカデミー推進部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

区の外国人登録人口は、平成23年1月1日現在7,508人で、毎年増加傾向にあり、外国人と共に暮らしやすい地域づくりのための取組が必要となっています。

国際理解の意識を高めるとともに、外国人との交流の輪を育むため、姉妹都市カイザースラウテルン市をはじめとする、海外都市との交流事業や交流の場に関する情報提供などを積極的に行い、誰もが気軽に参加できる環境づくりを推進します。

また、相互に理解を深めることができるよう、外国人が地域で実施される事業に参加できる機会を提供します。

## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

姉妹都市との交流は、ホームステイ事業を始め、公式訪問団の派遣・受入れや少年サッカー等市民レベルの交流も続けられています。今後さらに新たな交流手法も研究しつつ関係を継続していきます。

交流の歴史の浅いところは、交流の進め方、手法等を検討しつつ今後交流実績を積み上げていきます。

区民と留学生を始めとする外国人との交流をさらに進めることにより、相互理解を深め、より住みやすく活力のある地域社会を作っていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 海外都市との交流の推進

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	10 %	15 %	20 %	25 %
実績値	10 %	18 %	%	%
達成率	100.0 %	120.0 %	%	%

【取組状況・成果】23年度：北京市人民対外友好協会、昌平区の各訪問団を受入れ、姉妹都市在住アーティストによる演奏会を開催し、区生徒4人をホームステイ事業で姉妹都市に派遣しました。24年度：姉妹都市訪問団、ホームステイ事業の生徒3人を受入れ、北京市で開催された卓球大会に北京市昌平区と共に参加しました。

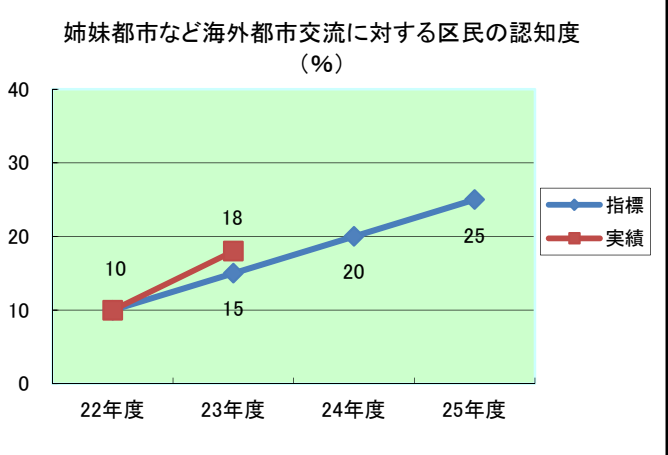
【課題】交流の歴史の浅い都市とは、今後の交流の進め方、手法などが課題です。また、国際交流の各事業で、また広報紙等により、海外都市交流への区民の認知度をさらに高める必要があります。

### ② 外国人の地域への参加機会の提供

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	65 %	70 %	75 %	80 %
実績値	71 %	82 %	%	%
達成率	109.2 %	117.1 %	%	%

【取組状況・成果】23年度：国際交流フェスタ、外国人対象の英語観光ガイドツアー（2回）や浴衣着付体験を実施し、また、こどもまつりに参加しました。24年度：英語観光ガイドツアーを実施し、また、実施回数・参加者の増、申込の利便性を考え、ホームページ上からの申込を開始し1回実施しました。

【課題】23年度前半は、震災の影響で外国人向け事業の実施を控えました。今後は、国際交流フェスタを始め、各事業の内容をさらに充実させる必要があります。

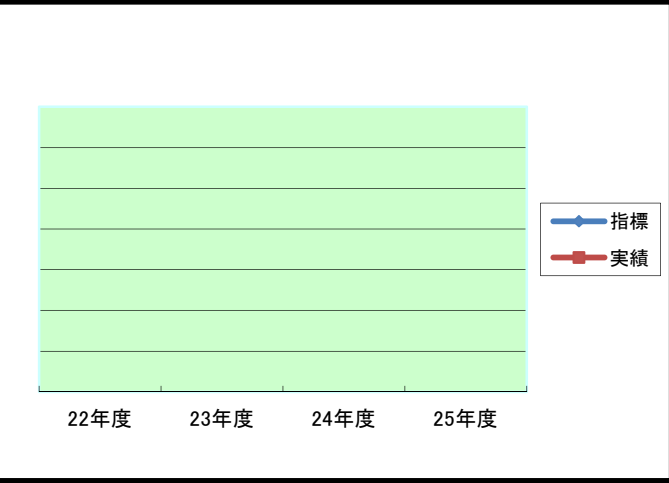


	22年度	23年度	24年度	25年度
--	------	------	------	------

目標値				
実績値				
達成率				

## 【取組状況・成果】

【課題】

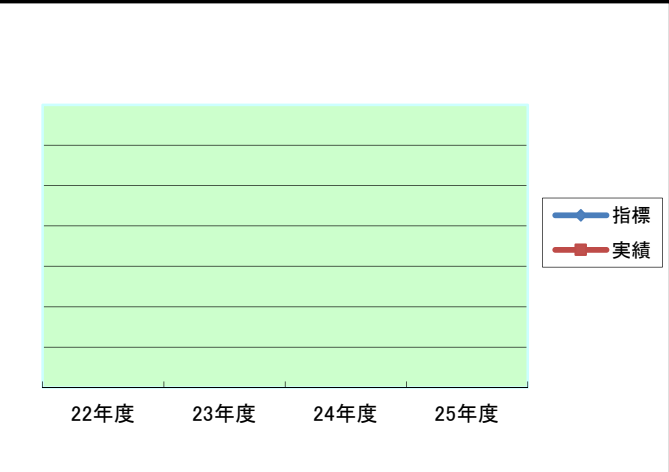


	22年度	23年度	24年度	25年度
--	------	------	------	------

目標値				
実績値				
達成率				

## 【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

A	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

## ●中項目全体の成果・課題 (昨年度の見)

海外都市との交流、外国人参加型の事業とも、着実に実施しており、平成22年度から延期となっていた姉妹都市訪問団の訪日が24年度実現しました。また、日中友好中学生卓球大会など、新たな交流事業にも参加しました。各都市とは、今後、さらに連絡を密にし、より良い交流手法を研究していく必要があります。また、外国人参加交流事業についても、手法・内容共に、外国人のニーズを踏まえ、更なる充実を図る必要があります。	海外都市との交流、外国人参加型の事業とも、着実に実施しており、今秋には昌平区の訪問団を急ぎ受け入れることになりました。一方で、平成22年度、23年度と、姉妹都市訪問団の訪日が延期となるなど、予定していた事業がいくつか中止となりました。各都市とは、今後、さらに連絡を密にし、より良い交流手法を研究していく必要があります。また、外国人参加交流事業についても、手法・内容共に、外国人のニーズを踏まえ、更なる充実を図る必要があります。	●将来像の実現に向けた実施計画事業				
		事業数	H22	H23	H24	H25
			4	4	4	
	総事業費	H22実績			16,428	千円
		H23実績			16,209	千円
	H24予算			23,628	千円	
	H25予算				千円	

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化 6 今後の方向性

海外都市との交流は、相手方の政治・経済事情、国家間の関係などにも大きく影響されるため、急遽交流事業の予定が変更になることが珍しくありません。

姉妹都市との交流は、ホームステイ事業を始め、公式訪問団の派遣・受入れが続けられています。平成25年度には、姉妹都市提携25周年を迎えるため、訪問団を派遣し、両市区相互の理解をさらに深め、協力関係をより強固なものとする予定です。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

交流の歴史の浅いところは、交流の進め方、手法等を検討しつつ今後交流実績を積み上げていきます。

国際交流フェスタ、地域連携事業等の内容をさらに充実させ、区民と留学生を始めとする外国人との交流をさらに進めることにより、相互理解を深め、より住みやすく活力のある地域社会を作っていきます。



# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	まちづくり・環境	中項目	住環境
将来像	だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち			
個別計画	都市マスタープラン、景観基本計画、緑の基本計画、公園再整備基本計画等			
所管部	区民部、都市計画部、土木部、資源環境部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

平成23年1月現在、区の人口は191,194人となり、都心回帰などにより、12年と比べ約2万人増加しています。区内では、マンションなどの建設が進む一方、高層建築物の出現による紛争も生じています。そこで、絶対高さ制限の導入により、良好なまち並み景観の形成や近隣紛争の防止、良好な住環境の保全などを図るとともに、地域特性を踏まえた市街地の整備を進めます。また、公園・緑地の整備やバリアフリーの道づくり、コミュニティバスの運行などにより、だれもが気軽に出かけられ、移動しやすい環境を整えるなど、安全で快適な魅力あふれるまちづくりを進めます。

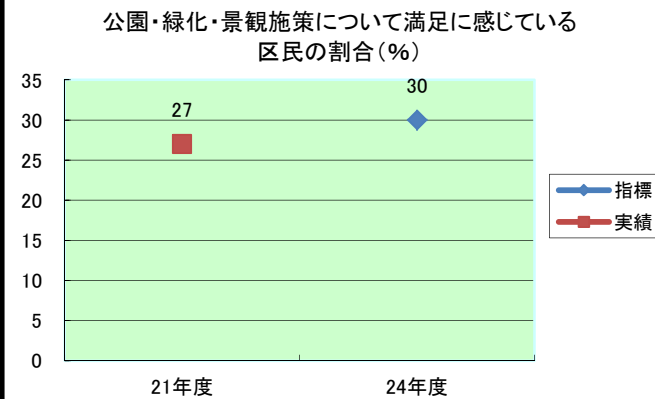
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

建築物の絶対高さ制限については、区民等と意見交換を十分に重ねながら合意形成を図り、都市計画決定に向けた手続きを進めてまいります。また、景観行政団体への移行については、改定都市マスタープランに掲げた「景観形成の方針」に基づき、地域の魅力をより一層生かした文京区らしい景観を創出していくため、本年度は景観計画の骨子を作成します。さらに、本年度末に「文京区公園再整備基本計画」を策定します。これらの取組み等により、住みよい良好なまち並み景観と秩序ある市街地を形成するとともに、良好な住環境の保全に努めてまいります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① だれもが住み続けたいと思える良好な住環境【満足度】

	21年度	23年度	24年度	25年度
目標値	— %	— %	30 %	— %
実績値	27 %	— %	%	%
達成率	— %	— %	%	%

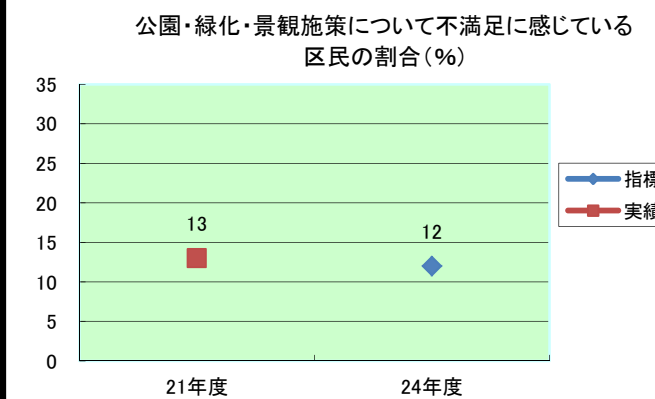


【取組状況・成果】文京区らしい景観特性をより際立たせるため、景観行政団体への移行に向けた景観計画の策定中です。また、『「文の京」の成り立ちを尊重し、自然、歴史、文化を大切にしつつ、人の輪が広がる公園をつくりまします。』を基本理念として掲げた公園再整備基本計画を前年度に策定しました。

【課題】地域の魅力を守り生かす施策を推進していくためには、区民等への内容の周知や合意形成が基本となるものであり、これらを踏まえて取り組む必要があります。

### ① だれもが住み続けたいと思える良好な住環境【不満足度】

	21年度	23年度	24年度	25年度
目標値	— %	— %	12 %	— %
実績値	13 %	— %	%	%
達成率	— %	— %	%	%



【取組状況・成果】同上

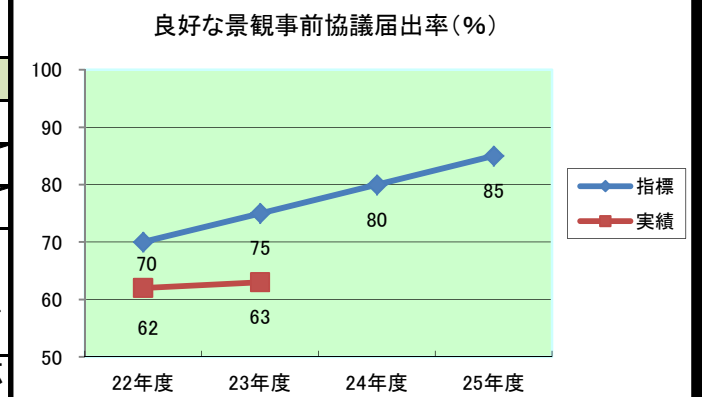
【課題】同上

### ② それぞれの地域にふさわしい良好な景観まちづくり

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	70 %	75 %	80 %	85 %
実績値	62 %	63 %	%	%
達成率	88.6 %	84.0 %	%	%

【取組状況・成果】過去最多となる170件の届け出がありました。届出書に景観への配慮事項を記入してもらうこと等により、事業者等の景観に対する意識の向上を促しました。

【課題】区のを明確に示す等、景観配慮の重要性を広く周知するための取組を充実させる必要があります。

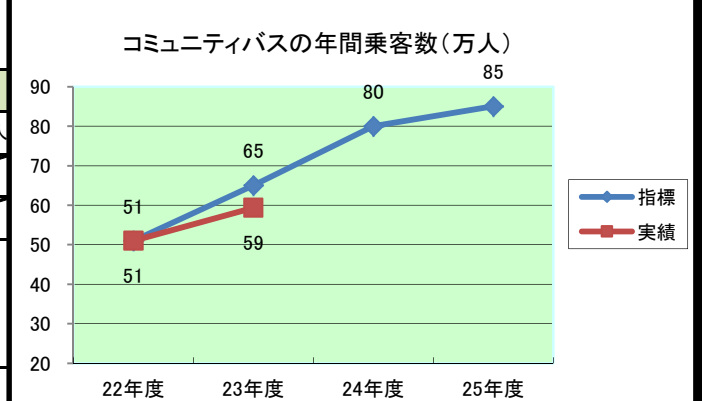


### ③ だれもが気軽に移動しやすいまちづくり

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	51 万人	65 万人	80 万人	85 万人
実績値	51 万人	59 万人	万人	万人
達成率	100.0 %	91.3 %	%	%

【取組状況・成果】①平成23年12月21日からの第二路線運行開始に当たり、車両購入費の補助及びバス停環境整備工事を行いました。第二路線開業により、全区に占める公共交通不便地域は、23.2%から16.3%へと約7ポイント改善しました。②ルートマップ・記念乗車券の作成等を行うことにより、バス利用促進を図りました。③第二路線の開業に当たり、沿線の4企業、2大学から協賛を得ることができました。これによりバスの安定的な運行に寄与しました。

【課題】①バス利用促進に向けた取り組みやPRを引き続き行う必要があります。②バスの安定的な運行に向けた収入を確保するため、引き続き、新たな協賛企業の募集等に努めてまいります。



## 3 評価

C	■ A 評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B 評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C 評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

公園再整備基本計画の策定、建築物の絶対高さ制限を定める高度地区の指定（第3次素案）の作成、景観行政団体への移行に向けた景観計画（素案）の作成、さらには、コミュニティバス第二路線開業など、「安全で快適な魅力あふれるまちづくり」に向け、着実に取組を進めています。これらの計画や施策等を実現化させるためには、その内容についての区民等の理解が不可欠であることから、より一層、区民周知や合意形成に努めてまいります。

### （昨年度の所見）

改定都市マスタープランにおいて、魅力を生かすまちづくり、建築物の絶対高さ制限の導入、景観行政団体への移行など、新たに取り入れた方針をもとに、「安全で快適な魅力あふれるまちづくり」に向け、着実に取組を進めています。また、快適な住環境の実現に向けた実施計画事業についても、ほとんどがA評価であり、順調に取組を進めています。				
事業数	H22	H23	H24	H25
	14	14	14	
総事業費	H22実績	897,055		千円
	H23実績	430,314		千円
	H24予算	834,224		千円
	H25予算			千円

### 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

- ・東日本大震災の発生(平成23年3月11日)
- ・文京区公園再整備基本計画の策定(平成24年3月)

### 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

### 6 今後の方向性

建築物の絶対高さ制限については、区民等と意見交換を十分に重ねながら合意形成を図り、第3次素案を作成したところです。今後は、原案を作成した上で、都市計画決定に向けた手続きを進めてまいります。また、景観行政団体への移行にあたっては、公募委員を含む景観計画検討委員会及び区民説明会等により、区民との合意形成を図りながら、景観計画（素案）を作成したところです。今後は、景観計画（案）を作成し、東京都との協議を経た上で、景観行政団体移行への手続きを進めてまいります。さらには、前年度策定の公園再整備基本計画の実現化に向けた取組を着実に進めてまいります。これらの取組等により、住みよい良好なまち並み景観と秩序ある市街地を形成するとともに、良好な住環境の保全に努めてまいります。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	まちづくり・環境	中項目	環境保護
将来像	環境にやさしい取組を推進するまち			
個別計画	地球温暖化対策地域推進計画、文京区役所地球温暖化対策実行計画、一般廃棄物処理基本計画			
所管部	土木部、資源環境部			

**1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」**

平成17年度の区内の二酸化炭素排出量は114万9千tであり、現状の対策のまま推移した場合、31年度には130万9千tになると推計されます。

そこで、新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進や、文京版クールアース・デーの実施等を通じた普及啓発に取り組み、地球温暖化対策を着実に実行していきます。

また、区も一事業者として、率先して地球温暖化対策に取り組みます。

区が収集した21年度の可燃・不燃ごみの総量は44,719tであり、最大であった元年度に比べて一貫して減少していますが、循環型社会の形成に向けて、一層の取組が必要です。

そこで、文京エコカレッジの開催や資源回収事業の拡充等を通じて、区民との協働に根差した3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進に取り組みます。

**●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」**

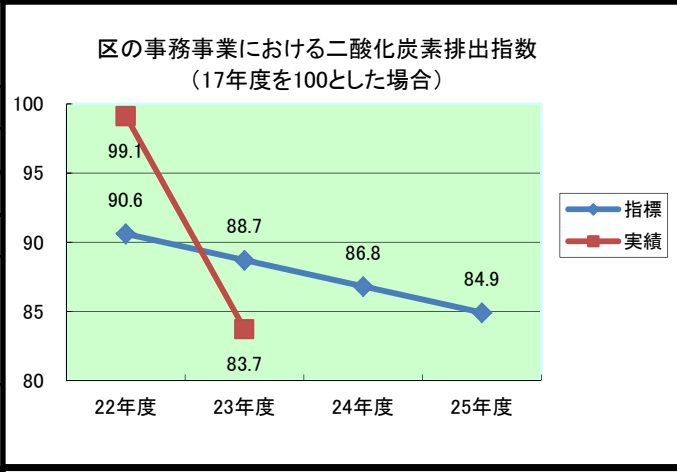
地球温暖化対策推進のために文京区地球温暖化対策地域推進協議会を設置し、今後の温暖化防止に貢献する省エネの推進等の施策を具体化していきます。また、区の事務事業でのエネルギー使用量削減の効果的なエネルギー管理に役立てるため、区有施設40箇所の省エネ診断を実施していきます。

循環型社会形成を目指して「一般廃棄物処理基本計画」で掲げた廃棄物の削減目標を達成するために、事業系ごみ対策の拡充、生ごみ減量の検討、「雑がみ」の資源回収の拡充を進めていきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

**① 二酸化炭素排出量の削減**

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	90.6	88.7	86.8	84.9
実績値	99.1	83.7		
達成率	90.6 %	105.6 %		

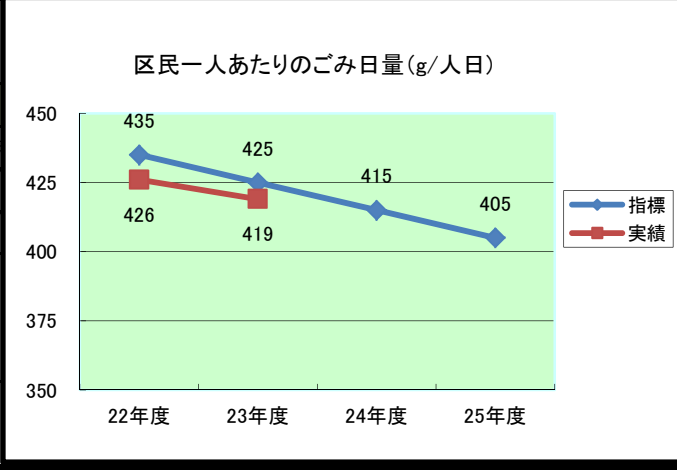


【取組状況・成果】東日本大震災以降、逼迫する電力需給対策に対応するため、夏季の区施設での節電・省エネ対策をはじめ、年間を通して各職場でエネルギー使用量の削減に努めました。区で実施した省エネ診断事業等の取組の効果もあり、地球温暖化対策実行計画で掲げる目標達成までとわずかの結果となりました。

【課題】平成23年度実績には大震災後の原子力発電所の事故による影響は二酸化炭素排出係数に反映されていませんが、24年度には二酸化炭素排出係数が確実に増加する見込みのため更なる削減への取組を進める必要があります。

**② 循環型社会の形成の推進**

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	435 g/人日	425 g/人日	415 g/人日	405 g/人日
実績値	426 g/人日	419 g/人日		
達成率	102.1 %	101.4 %		



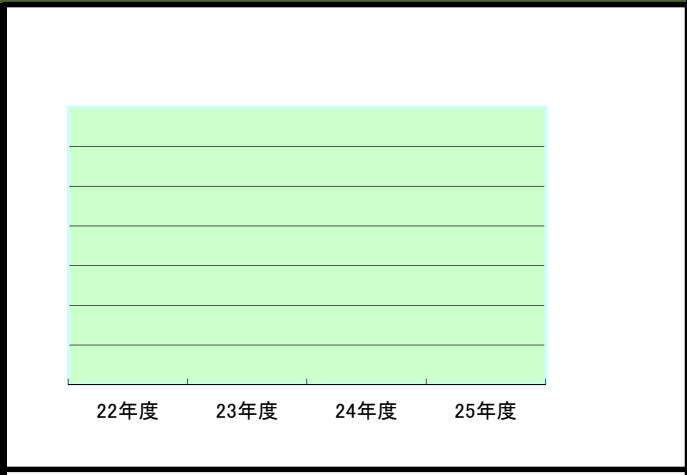
【取組状況・成果】平成23年4月から粗大ごみの一部資源化の取組により、これまで粗大ごみとして搬入していたものうち約292tを再資源化し、ごみ量を減らすことができました。

【課題】区収集可燃ごみの総量が前年より微増となりました。人口増等の影響が考えられますが、今後も継続して雑がみや生ごみに関する減量を進める必要があります。

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率	%	%	%	

【取組状況・成果】

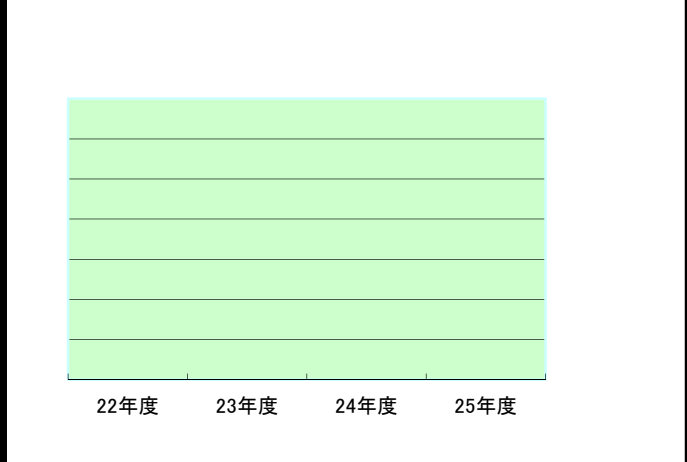
【課題】



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率	%	%	%	

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

A	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

●中項目全体の成果・課題	(昨年度の所見)	●将来像の実現に向けた実施計画事業																																			
23年度の二酸化炭素排出量は22年度に比べ2,658トンの削減となり、最も少ない排出量となりました。この主因は、東日本大震災の対応による節電対策や23年度から実施している省エネ診断のアドバイス等によるものです。23年度の排出係数について大きな変動はありませんでしたが、24年度実績から原子力発電所の事故による影響等により、排出係数の増加が予測されます。	二酸化炭素排出量の削減の指標では、22年度は840tの増加となってしまいました。排出係数は、エネルギー政策等の変化により変動するため単年度で削減成果の把握は難しくなっていますが、区有施設の実態に合わせた省エネに取り組んでいます。循環型社会の形成の推進では、22年度に区が収集した可燃ごみ・不燃ごみともに減少し、指標に掲げた目標を達成することができました。特に不燃ごみは、収集回数の変更や品目の新たな資源回収の開始の影響で14.6%の減少となるなど順調に取り組んでいます。区民や事業者への省エネ、3R推進の普及啓発はイベント等を活用し積極的に削減への協力をアピールしていくことが必要です。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業数</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22実績</td> <td colspan="4">304,772 千円</td> </tr> <tr> <td>H23実績</td> <td colspan="4">307,346 千円</td> </tr> <tr> <td>H24予算</td> <td colspan="4">322,915 千円</td> </tr> <tr> <td>H25予算</td> <td colspan="4">千円</td> </tr> </tbody> </table>	事業数	H22	H23	H24	H25		10	10	10		総事業費					H22実績	304,772 千円				H23実績	307,346 千円				H24予算	322,915 千円				H25予算	千円			
事業数	H22	H23	H24	H25																																	
	10	10	10																																		
総事業費																																					
H22実績	304,772 千円																																				
H23実績	307,346 千円																																				
H24予算	322,915 千円																																				
H25予算	千円																																				

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

東日本大震災の発生（平成23年3月11日）  
省エネ法の改正（平成20年5月）  
東京都環境確保条例の改正（平成20年7月）

## 6 今後の方向性

地球温暖化対策推進のために設置した文京区地球温暖化対策地域推進協議会において、地球温暖化対策地域推進計画に基づき温室効果ガスの排出を抑制するアクションや今後の温暖化防止に貢献する省エネ推進対策を具体化していきます。また、区の事務事業でのエネルギー使用量削減と効果的なエネルギー管理に役立てるため区施設の省エネ診断を継続して実施していきます。

循環型社会形成を目指して「一般廃棄物処理基本計画」で掲げた目標を達成するために、毎年度の進捗状況を評価し、その結果により実施計画の見直しを行います。

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	まちづくり・環境	中項目	災害対策
将来像	備えと助け合いのある災害に強いまち			
個別計画				
所管部	総務部、都市計画部、土木部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

近年、我が国では、新潟県中越地震（平成16年）、岩手・宮城内陸地震（20年）などの大規模な地震が発生しているとともに、首都直下地震の発生が危惧されています。各主体においては、防災訓練等を通じて防災意識の向上に取り組んでいますが、各主体間の取組に温度差も生じています。そこで、避難所運営訓練への支援や区民防災組織の育成などを通じて、地域の防災力を高めることで、区全体の防災力を向上させる取組を推進します。

細街路の多い地域は、消防活動が困難になるばかりでなく、緊急車両等の通行や災害時の避難路の確保にも支障をきたす恐れがあります。そこで、細街路を4m幅員の道路に整備することにより、地震や火災などの災害に強いまちづくりを進めます。

近年、突発的かつ局地的な集中豪雨により、家屋への浸水被害が発生しています。そこで、重点整備地区への雨水浸透ますの設置や区道の透水性舗装などを通じて、都市型水害対策を図ります。

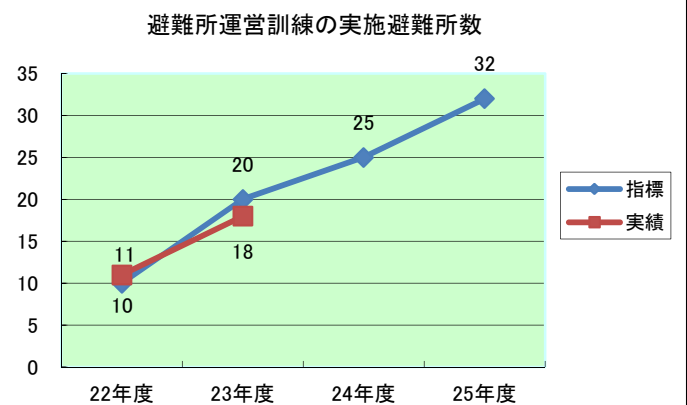
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

東日本大震災の震災対応を広く検証し、その結果を基本に、喫緊の課題に対する対応方針を平成23年末に策定します。平成24年度に都の地域防災計画が修正されるのを受けて、本区の地域防災計画を抜本的に修正いたします。修正においては、現行の施策に震災の検証結果を反映するほか、浸水被害削減に向けた対策、耐震改修促進助成の対象を拡充するなど、文京区が備えと助け合いのある災害に強いまちとなるような施策を進めてまいります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 地域主導の防災対策

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	10 か所	20 か所	25 か所	32 か所
実績値	11 か所	18 か所	か所	
達成率	110.0 %	90.0 %	%	

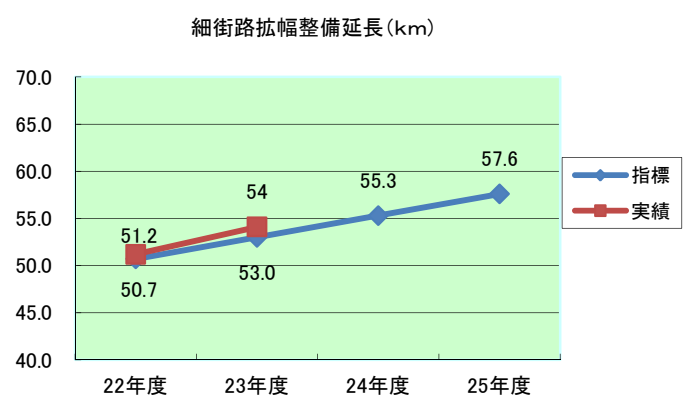


【取組状況・成果】 東日本大震災による危機意識の高揚を契機として、避難所運営協議会設立後、未活動の協議会に対して、積極的に活動支援を行った結果、半数以上の協議会が訓練を実施しました。さらに、個々の協議会において、先進的な取組事例を紹介することで、協議会の自主運営意識が高まり、レベルアップしました。

【課題】 32か所の避難所運営協議会を支援するためのマンパワーが必要なため、地域活動センターと連携し、継続的な支援強化を図ります。また、協議会未設立の2か所の避難所については、町会役員に個別にアプローチを行い、課題解決を図ることで、早期の設立を目指します。

### ② 災害に強い都市の整備①

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	50.7 km	53.0 km	55.3 km	57.6 km
実績値	51.2 km	54.1 km	km	
達成率	101.0 %	102.1 %	%	



【取組状況・成果】 区報、パンフレット、ホームページ等で適宜事業の趣旨をPRするとともに、建築主等と協議の整った場所約2.9kmについては、予定どおり整備を進めることができ、幅員整備延長は54.1kmとなりました。

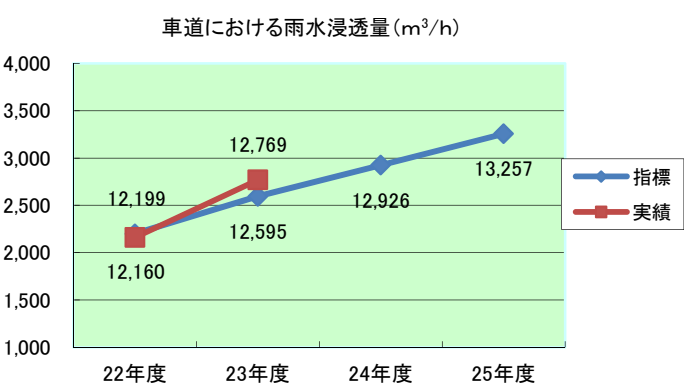
【課題】 建築の新築等の機会を捉えて整備するので、区内の細街路をすべて解消させるには、相当な時間が必要です。また、区民の協力が特に不可欠な事業であり、事業のPRをさらに充実させる必要があります。

### ③ 災害に強い都市の整備②

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	12,199 m <sup>3</sup> /h	12,595 m <sup>3</sup> /h	12,926 m <sup>3</sup> /h	13,257 m <sup>3</sup> /h
実績値	12,160 m <sup>3</sup> /h	12,769 m <sup>3</sup> /h	m <sup>3</sup> /h	
達成率	99.7 %	101.4 %	%	

【取組状況・成果】 重点整備地区の一つである「千駄木・本駒込地区」への浸透ます設置を完了しました。また、道路工事に併せ、雨水浸透ますを設置しました。

【課題】 都市型水害の軽減を図るため、今後とも計画的に雨水浸透柵を設置してまいります。



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率	%	%	%	

【取組状況・成果】

【課題】

### 3 評価

**B**

- A評価（極めて順調である。） 指標の達成率がすべて100%以上
- B評価（順調である。） 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
- C評価（課題がある。） 指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

施策の実現には、「自助」「共助」への区民の積極的な取組、更に「公助」への理解が不可欠です。これまで目標値の達成に向けて、区民への周知に努め、防災意識の向上を図りました。更に、平成24年度は、東日本大震災の課題や教訓や、東京都が発表した「首都直下地震による東京の被害想定」を踏まえ、文京区地域防災計画の修正に取り組んでいます。



東日本大震災により、文京区も様々な災害対応をおこなってきましたが、今回の震度5弱対応と帰宅困難者対策等については明確な方針を策定する必要があります。今後は震災の検証結果を基に、対応方針等を視野に入れて、様々な課題を関係各部の協力を得ながら、震災、風水害等の災害に強いまちづくりを進めてまいります。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	13	13	13	
総事業費	H22実績	468,159		千円
	H23実績	557,795		千円
	H24予算	622,231		千円
	H25予算			千円

### 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

- ・東日本大震災の発生（平成23年3月11日）
- ・災害（震災）時における当面の対応方針の策定（平成23年12月22日）
- ・東京都地域防災計画の修正（平成24年11月予定）
- ・文京区地域防災計画の修正（平成25年3月予定）

### 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

### 6 今後の方向性

現在、文京区地域防災計画修正の骨子において、「建造物等の安全化」や「地域防災力の充実」を重点的に取り組む対策と位置付けて、既存施策のレベルアップや新規施策を検討してるところです。今後は、新しい地域防災計画に基づいて、地域の防災力の更なる向上を図り、備えと助け合いのある災害に強いまちの実現を目指します。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	まちづくり・環境	中項目	防犯・安全対策
将来像	みんなで作る、犯罪や事故の一番少ないまち			
個別計画	文京区交通安全計画			
所管部	総務部、土木部			

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

平成21年の区内刑法犯認知件数は2,417件であり、23区中最も少ない件数となっていますが、窃盗や振り込め詐欺など身近な犯罪は後を絶たない状況です。  
 そこで、防災・安心メールの配信や、自主防犯パトロールカーの運行などを通じて、区民主体の防犯活動を支援します。  
 21年の区内交通事故死傷者数は948人であり、近年減少傾向にあります。高齢者の事故や自転車が関係する事故が目立っています。  
 そこで、幼児・児童用ヘルメット購入費の補助、自転車運転免許証等の発行、コミュニティ道路整備などを通じて、総合的に交通安全対策を推進します。

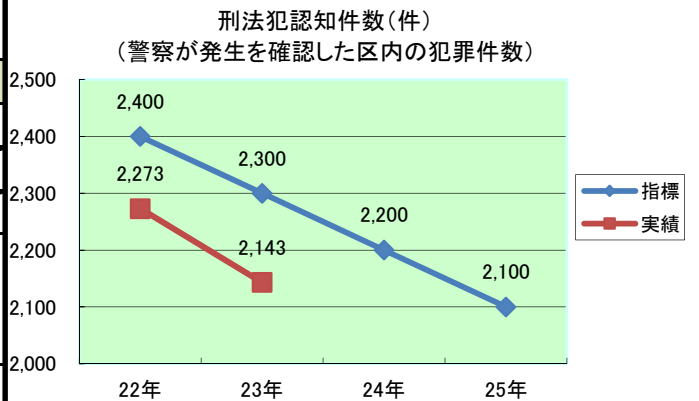
## ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

平成23年10月1日に施行される「東京都暴力団排除条例」は、暴力団から地域社会を守り、その存在を排除していくために制定されるものです。そのような中、本区においても、その対策が求められており、条例制定を含めた総合的な取組が必要となっており、  
 なお、防犯・安全対策の両面において、警察との連携は必要不可欠であり、現在も必要に応じて会議等を行っていますが、今後はより一層、連絡を密に取るなど、連携を強化させていきます。  
 さらに、安全なまちづくりは、区民や区内の事業者の協力があって初めて成し遂げられるものであり、その実現に向けて事業を展開していきます。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 犯罪の一番少ないまちづくり

	22年	23年	24年	25年
目標値	2,400 件	2,300 件	2,200 件	2,100 件
実績値	2,273 件	2,143 件	件	件
達成率	105.3 %	106.8 %	%	%

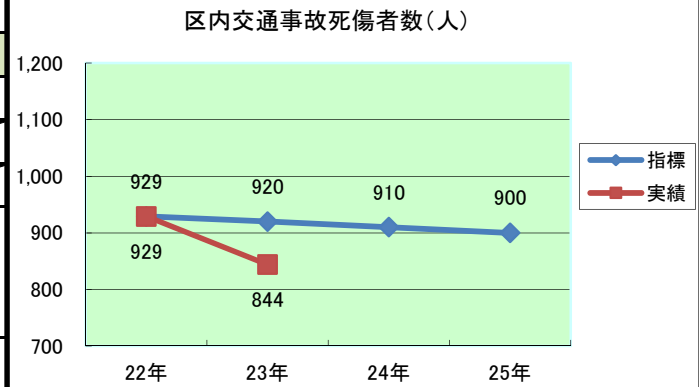


【取組状況・成果】 防犯対策を推進する地区である関口一丁目地区が防犯カメラを設置するに当たり、区として助成を行うなど、地域活動団体の活動に対する支援やボランティア団体等による青色防犯パトロールの実施等、犯罪発生抑制に向けた取組を進め、区内の刑法犯認知件数が減少しました。また、東京都暴力団排除条例(平成23年10月1日)の施行を受け、平成24年4月の区条例施行に向け、暴力団排除活動を推進するための準備を行いました。

【課題】 犯罪件数を減らすためには、普段から区民、事業者、地域活動団体、警察などの関係機関と区が、常に情報共有を図るなど連携・協力体制を強化し、地域の安全性を高める必要があります。

### ② 交通事故のない社会

	22年	23年	24年	25年
目標値	929 人	920 人	910 人	900 人
実績値	929 人	844 人	人	人
達成率	100.0 %	108.3 %	%	%



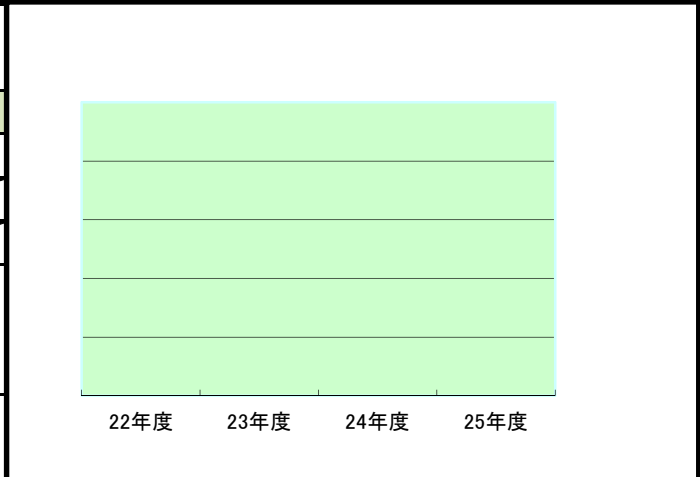
【取組状況・成果】 区内の警察等の行政機関及び町会・交通安全協会等と連携した各種交通安全施策を実施し、計画目標値を達成しました。また、高齢者層を対象とした交通安全教室や街頭キャンペーン等の実施により、前年度比で他の年代層が微増や微減なのに対し、高齢者層は28.2%の減少となりました。

【課題】 区内交通事故死傷者数を大幅に減少させるためには、約8割を占めている成人層の交通事故死傷者数を減少させる必要があります。

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

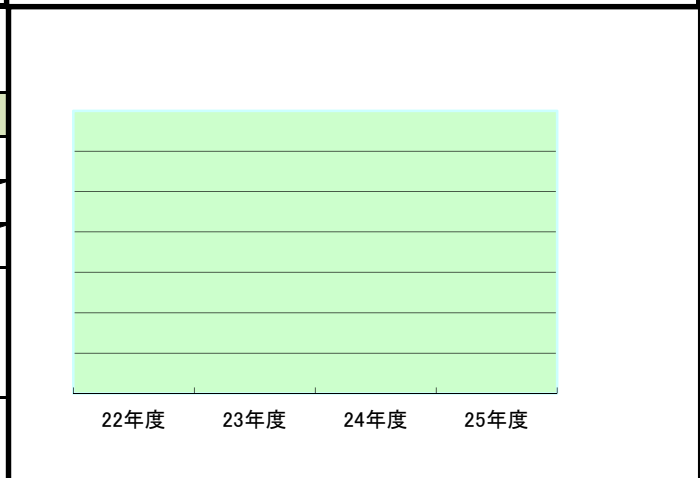
【課題】



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】



## 3 評価

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ A評価 (極めて順調である。) 指標の達成率がすべて100%以上</li> <li>■ B評価 (順調である。) 指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存</li> <li>■ C評価 (課題がある。) 指標の達成率がすべて100%未満</li> </ul>
---	---

## ●中項目全体の成果・課題

平成22年・23年と防犯・安全対策を推進してきた結果、犯罪及び交通事故発生件数ともに減少しており、順調に推移しております。防犯対策では振り込めや還付金詐欺被害の防止を折に触れて啓発し、また、暴力団排除においては、都の条例施行を受け、本区においても区の特性を加味した独自規定を盛り込んだ条例を制定しました。交通安全対策では、高齢者層への対策を実施し、その成果が認められております。しかし、防犯・安全面における本区を取り巻く状況は、子どもや女性の安全対策や自転車マナー対策など、決して楽観できるものではありません。引き続き、様々な角度から、防犯・安全対策を進めていく必要があります。

## (昨年度の所見)

防犯・安全対策を推進してきた結果、平成22年は、犯罪発生件数、交通事故発生件数ともに減少しており、概ね順調に進んでおります。しかし、防犯面において、振り込め詐欺はより巧妙化の傾向にあり、また、都市部における暴力団の活動も衰退の状況にはありません。一方で、安全対策の面においても、本格的な高齢化社会を目の前に、高齢者の絡んだ交通事故も増えており、その対策が求められています。このような状況にあるため、現状に満足するのではなく、今後は、さらにハード、ソフトの両面において、防犯・安全対策を進めていく必要があります。

## ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	7	7	6	
総事業費	H22実績	293,364 千円		
	H23実績	326,401 千円		
	H24予算	410,373 千円		
	H25予算	千円		

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

- ・東京都暴力団排除条例の施行(平成23年10月1日)
- ・文京区暴力団排除条例の施行(平成24年4月1日)
- ・第10次文京区交通安全計画の策定(平成23年度)

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

暴力団排除への取組では、平成23年10月の都条例施行を受け、本区においても「文京区暴力団排除条例」を平成24年4月に施行し、その取組を明確に規定しました。  
 上記の取組も含め、防犯・安全対策を進めるにあたり、区と警察、そして区民や区内事業者との連携は、必要不可欠なものであり、定期的な会議を行い、連絡を密に取りあうなど、より一層の連携強化を図っていきます。  
 安全で安心なまちづくりに向け、今後も関係機関と協議を行い、協力して必要な事業を展開していきます。

# 平成24年度 基本構想実現度評価表（政策・施策評価表）

政策・施策【基本構想上の位置付け】	大項目	行財政運営・基本構想の進行管理	中項目	(1) 区民サービスの向上	(2) 開かれた区役所
				(3) 区の公共施設	(4) 行財政運営
将来像	(1) 心の行き届いたサービスを受けられるまち (2) だれもが区政を身近に感じ、参画できるまち (3) だれもが使いやすい公共施設のあるまち (4) 信頼される行財政運営を推進するまち				
個別計画					
所管部	企画政策部、総務部				

## 1 基本構想実施計画の「現状と今後3か年の方向性」

区民のライフスタイルや価値観の多様化により、区民の区政に対するニーズも多様化・高度化しています。このようなニーズに対応するには、区民等と協働した取組が重要であり、そのためには適切な広報や区民参画の充実とともに、職員一人ひとりの能力向上等が求められています。また、公共施設においては、区民の利便性を向上させるため、運営方法、サービス等の見直し並びに老朽化した施設の計画的な改築及び施設の複合化が必要となっています。このような課題への確に対応するため、限られた資源（予算、職員等）の中で、効果的・効率的な行財政運営を進めることが求められています。そこで、ホームページ等により広報機能を強化し、地域活動参加支援サイトの運営、審議会における区民委員の拡充等により、区政への区民参画を推進します。また、職員の能力開発や意識改革を進めるほか、職員定数の適正化、財政の健全化等によって、効率的な区政運営を進めていきます。さらに、区の公共施設の計画的で効率的な改修・改築を行うとともに、民間事業者などのノウハウを取り入れた施設の運営を推進していきます。

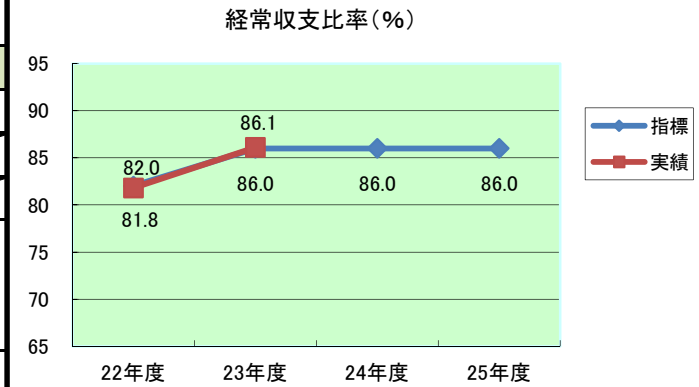
### ●昨年度の基本構想実現度評価における「6 今後の方向性」

現在策定中の新しい行財政改革推進計画に基づき、より一層健全な財政運営・効率的な組織運営を行うとともに、公有地の有効活用等に努めてまいります。また、新たな公共の担い手専門家会議での検討結果も踏まえ、地域の多様な主体との協働を進めることで、よりきめ細やかな行政サービスの提供を図ります。区の行財政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続きますが、国の制度変更にも柔軟に対応し、効率的な行財政運営に取り組むことで、区民サービスの向上に努めてまいります。

## 2 基本構想実施計画の「指標」

### ① 財政の健全化

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	82.0 %	86.0 %	86.0 %	86.0 %
実績値	81.8 %	86.1 %	%	%
達成率	100.2 %	99.9 %	%	%

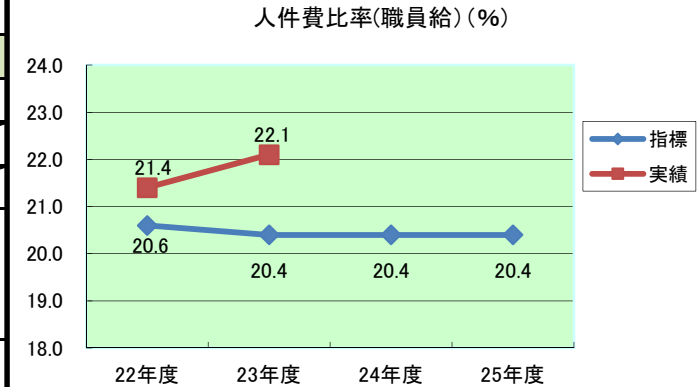


【取組状況・成果】23年度の経常収支比率は22年度より4.3ポイント上回る86.1%となりましたが、ほぼ目標値となりました。なお、特別区平均は86.4%で、本区は23区中14番目の水準となっています。

【課題】今後も、一般財源の減収見込み等により経常収支比率の上昇傾向は避けられない状況ですが、効率的な行財政運営により上昇幅を抑えていく必要があります。

### ② 職員数の適正化

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	20.6 %	20.4 %	20.4 %	20.4 %
実績値	21.4 %	22.1 %	%	%
達成率	96.1 %	91.7 %	%	%



【取組状況・成果】各組織の現状と課題をふまえ、民間活力の活用、既存施設・既存事業の見直し等の実施により、職員数及び職員給を削減しました。しかし、歳入一般財源等の減収により、人件費比率は上昇しました。

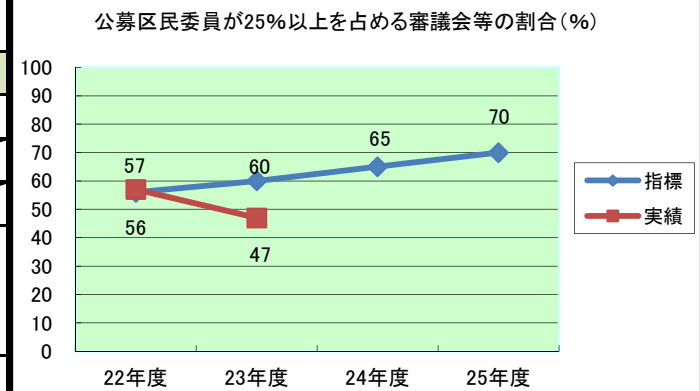
【課題】国の制度改正等や行政需要の変化等を捉えながら、各部署の事務量や効率的な庁内体制の構築に呼応した職員数の適正化を全庁的に推進していく必要があります。

### ③ 区民参画の推進

	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値	56 %	60 %	65 %	70 %
実績値	57 %	47 %	%	%
達成率	101.8 %	78.3 %	%	%

【取組状況・成果】行財政改革推進計画や地域福祉保健計画の策定等において、区民協議会、パブリックコメント、区民説明会などの機会を通じて、区民の多様な意見を聴取し、区の施策への反映を図りました。

【課題】公募区民委員の割合が25%未満の審議会等については、改選時期等に合わせて指針に適合するよう構成員の見直し等の検討が必要です。また、多様な区民の参画手法の採用について全庁的に取り組む必要があります。



	22年度	23年度	24年度	25年度
目標値				
実績値				
達成率				

【取組状況・成果】

【課題】

## 3 評価

C	■ A評価（極めて順調である。）	指標の達成率がすべて100%以上
	■ B評価（順調である。）	指標の達成率が100%以上のものと100%未満のものが併存
	■ C評価（課題がある。）	指標の達成率がすべて100%未満

### ●中項目全体の成果・課題

23年度当初予算では、財政調整基金から約44億円の繰入れを予定していましたが、歳入確保や歳出削減の努力などにより、約29億円にとどめることができました。しかし、引き続き厳しい財政状況が続くことから、一層健全な財政運営に努めることが不可欠です。受益者負担の適正化に向けて、使用料及び手数料等の改定方針を定め、本方針をもとに使用料等の改定を行うこととしました。今後、区民への十分な周知をする必要があります。区有地・区有施設のうち、施設の移転に伴い新たな活用が可能なものについて、その有効活用に向けた基本的な考え方及び方向性を整理しました。この方向性をもとに、具体的な検討を進める必要があります。24年4月に開設した江戸川橋体育館に指定管理者制度を導入し、民間事業者の専門的なノウハウの活用を図りました。

### ●将来像の実現に向けた実施計画事業

事業数	H22	H23	H24	H25
	17	17	17	
総事業費	H22実績	1,125,906	千円	
	H23実績	1,222,322	千円	
	H24予算	1,272,701	千円	
	H25予算		千円	

## 4 政策・施策に影響を及ぼす環境変化

世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動による国内の景気悪化リスク

## 5 基本構想推進区民協議会等での意見等

## 6 今後の方向性

24年3月に策定した「行財政改革推進計画【平成24年度～28年度】」を着実に実行し、「健全な財政運営の確保」と「区民サービスの向上」の両立を図ります。税収以外の歳入の確保策として、入札により自動販売機の設置を進めていきます。使用料等の改定は、25年4月を予定し、以後原則として3年ごとに改定を行います。区有地及び区有施設の有効活用について、時機を逸することのないよう25年度中に具体的な活用スケジュールを検討します。25年度に千石児童館及び勤労福祉会館に指定管理者制度を導入するとともに、引き続き、本制度の積極的な活用を検討します。新たな公共の担い手専門家会議からの提言を受け、区としての取組方針を定め、その具体化に取り組みます。多様な区民ニーズに組織としての確に対応できるよう、職場の活力向上に向けた取組を進めます。